

LMB12

自走式バッテリーモア

取扱説明書



Serial No. LMB12 : 10806-

「必読」
ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

Ver.2.0

ごあいさつ

このたびは、パロネス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 本書は、この製品の正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。
 いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

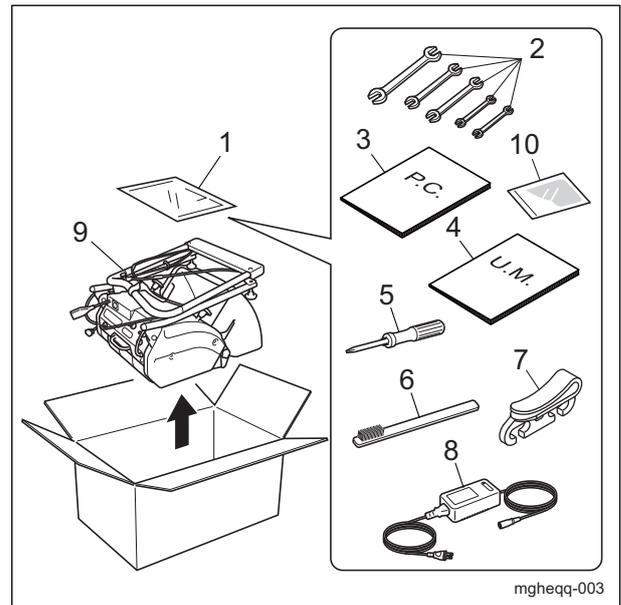
梱包品の確認

注意



ダンボール箱から本体を取り出す際は、刃物で手や指を切らないように十分注意してください。

ダンボール箱を開封し、梱包品がすべて揃っているか確認してください。



梱包品の確認_001

1	付属品
2	スパナ
3	パーツカタログ
4	取扱説明書
5	ドライバー (+・-差し替えタイプ)
6	ブラシ
7	ベルトストラップ
8	充電器
9	本体
10	研磨剤

参考：

段ボール箱、梱包材は収納時や移転時に必要です。
 大切に保管してください。

本書を読んで製品の使用方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑のかからない、適切な方法でご使用ください。

この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

整備を行う場合は専門知識のある要員によって作業を行ってください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽にバロネス販売代理店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせの際には、必ずこの製品の型式と製造番号をお知らせください。

この製品を貸与または、譲渡する場合はこの製品と一緒に本書をお渡ししてください。

株式会社 共栄社

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

 <small>696cq5-001</small>	危険警告記号
<p>この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。 いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。 これらを遵守されない場合、事故につながるおそれがあります。</p>	
<p>⚠ 危険</p> <p>その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。</p>	
<p>⚠ 警告</p> <p>その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあるものを示しています。</p>	
<p>⚠ 注意</p> <p>その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。</p>	
<p>重要</p> <p>製品の構造などの注意点を示しています。</p>	

はじめに

警告表示について

	必ず指示に従ってください。
	刃物注意
	回転物巻き込み注意
	危険マーク（飛散物）
	絶対に行わないでください。
	絶対に触れないでください。
	絶対に分解、改造しないでください。
	感電注意

使用上の注意

⚠ 注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。

純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

⚠ 注意

この製品は、日本国内用に設計されており、日本国外の法律には準拠していません。

この製品を日本国外で使用した場合、製品保証の対象外となります。

この製品を使用する前に下記の取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。

- ・ バロネス製品の取扱説明書

使用目的

この製品は、庭の芝草刈り作業を目的とした機械です。

この目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。

この製品をその他の目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

安全	Page 1-1
安全上の注意事項	Page 1-2
バッテリーの取り扱いに関する注意事項	Page 1-3
廃棄	Page 2-1
リサイクルおよび廃棄処分	Page 2-2
製品概要	Page 3-1
仕様	Page 3-2
各部の名称	Page 3-3
規制ラベル	Page 3-3
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-4
取り扱い説明	Page 4-1
使用前の準備	Page 4-2
点検	Page 4-4
使用前の調整	Page 4-6
操作方法	Page 4-9
計器	Page 4-12
移動	Page 4-13
刈り込み	Page 4-14
保管	Page 4-16
メンテナンス	Page 5-1
メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンスの方法	Page 5-3
故障と対処	Page 5-11

安全上の注意事項 Page 1-2

バッテリーの取り扱いに関する注意事項 Page 1-3

誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。

⚠ 危険

この製品は、安全な取り扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転や検査を重ねた上で出荷しております。事故防止のための安全装置は装備しておりますが、これらは適切な操作、取り扱い、および日常の管理方法が大きく影響します。この製品を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながるおそれがあります。以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

安全上の注意事項

事故を防止するために、以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください。

1. 取り扱い方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用してください。
 - [1] この機械は鋭利な刃物で芝を刈る機械ですので、誤って使用すると大変危険です。構造をよく理解の上、使用してください。
 - [2] 機械には幼児やペットを近づけないでください。
 - [3] 子供に使用させないでください。
2. 作業に適した衣服で機械を使用してください。安全のため、保護器具、保護メガネ、靴、手袋などを着用し、必ず長ズボンで作業を行ってください。機械に巻き込まれたり、刃物に当たった小石類が飛散し、思わぬケガをするおそれがあります。
3. ご使用前に刃物に異常が無いか点検してください。刃物にひび、欠けなどの異常があった場合は、お買い求めの販売店または弊社に修理を依頼してください。そのまま使用すると思わぬケガをするおそれがあります。
4. 誤ってこの機械を落としたり、ぶつけたときは異常が無いか確認してください。機体などに破損や亀裂、変形などが無いか点検してください。それらを修復しないまま作業すると思わぬケガをしたり、機械の故障の原因となります。
5. 可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。思わぬ事故を起こし、機械の破損またはケガをするおそれがあります。

6. 必ず集草箱を取り付けて作業を行ってください。集草箱を取り付けずに作業をすると小石類や刈った芝が飛散し、思わぬケガをするおそれがあります。また、回転刃が回転している間は、排出口の近くには小石類の飛散のおそれがありますので、手や顔を近づけないでください。
7. スイッチレバーを放した後も回転刃に注意してください。スイッチレバーを放した後も、回転刃はしばらく回っています。機械の持ち運びや集草箱の脱着、点検、お手入れは、必ず回転刃が止まっていることを確認し、電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてから行ってください。
8. 回転刃に触れる場合は必ず電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜き、手袋を着用してください。刃先は非常に鋭利で、不意にスイッチが入り回転すると大変危険です。取り扱い時は必ず手袋を着用し、ケガをしないように注意してください。
9. 感電には注意してください。
 - [1] 濡れた手でバッテリーのカプラーの抜き差しはしないでください。
 - [2] 雨中で使用しないでください。
 - [3] 水洗いをしないでください。
 - [4] 雨ざらしにしないでください。
10. この機械を使用しないときは、電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。
 - [1] 運搬するときは電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。
 - [2] 点検や整備をするときは電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。
 - [3] 部品などを交換するときは電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。
 - [4] その他、危険が予想される場合は電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。
11. この機械の修理をするときは修理の知識や技術の知識の無い人が行わないでください。修理の知識や技術の無い人が修理すると、事故や故障またはケガの原因になります。必ずお買い求めの販売店または、弊社に依頼してください。

⚠ 注意

警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあります。

また、物的損害の発生が予測されます。

以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

12. ご使用前に異常が無いか点検してください。
 - [1] ボルト、ナットに緩みが無いか確認してください。
 - [2] カバー、集草箱はきちんと取り付けられているか点検してください。
 - [3] 異常音、変形、破損などがある場合は、必ず修理してから使用してください。
13. 機械の改造をしないでください。
 - [1] この機械は該当する安全規格に適合していません。
改造はしないでください。
 - [2] この機械の手入れに必要な部品は安全確保のために、純正部品を使用してください。
14. ご使用になる場所の障害物を取り除いてください。

小石、木片、金属片などが飛散するおそれがあります。
また、刃先を傷めます。
15. 勾配の急な斜面では特に注意して使用してください。
 - [1] 不安定な場所に放置すると、倒れるおそれがあります。
 - [2] この機械を保持していないと機械が振れ、思わぬケガをするおそれがあります。
16. 異物をかみ込んだときは、すぐにスイッチレバーを放し、電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。

異物をかみ込んだまま作業を続けると故障の原因となります。
かみ込んだ異物は取り除き、刃物に異常が無いか点検してから作業を再開してください。
17. 機械を他人に貸すときは取り扱い方法を説明してください。

この機械を他人に貸すときは取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取り扱い要領をよく説明してください。
取扱説明書を渡し、使用前によく読むように指導してください。

バッテリーの取り扱いに関する注意事項

事故を防止するために、以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください。

1. バッテリーの充電は付属の充電器で行ってください。

バッテリーの充電は、付属の専用充電器で行ってください。
専用以外の充電器を使用すると、バッテリーの寿命の低下、さらにはバッテリーの液漏れ、発熱、爆発の原因になることがあります。
2. バッテリーの端子を接触させないでください。

バッテリーのカプラーのプラス (+) 端子、マイナス (-) 端子を針金などで接触 (短絡) させないでください。
スパークによる引火爆発の原因になります。
3. ご購入後は直ちに充電をしてください。

長期放置によるバッテリーの自然放電を補うため、ご購入後は直ちに充電をしてください。
4. バッテリーを機械から取り外す場合やバッテリーを充電機から取り外す場合は、配線を引っ張らないでください。

配線を引っ張ってカプラーやプラグを外すと、端子に力がかかり、配線が破損するおそれがあります。
必ずカプラーあるいはプラグを持って外してください。
5. バッテリーの分解および衝撃を与えることや圧力を加えることはしないでください。

加熱やガスの発生または発火するおそれがあります。
バッテリー液であるアルカリ電解液は目や皮膚に有害です。
6. バッテリーを長期間保存する場合は、3 か月に 1 回充電をしてください。

充電を行わず長期間使用しないと、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。
また、長期保存する場合は乾燥した涼しい場所に保管し、高温多湿になる場所は避けてください。
7. ご使用後は充電をしてください。

バッテリーを長くお使いいただくため、ご使用後に充電をしてください。

リサイクルおよび廃棄処分Page 2-2

リサイクルについて Page 2-2

廃棄処分についてPage 2-2

リサイクルおよび廃棄処分

リサイクルについて

バッテリーなどは環境保護および資源の有効活用のためにリサイクルされることを推奨します。
また、地域によっては法律により義務付けられています。

廃棄処分について

整備、修理などの作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。
(例：廃油、不凍液、ゴム製品、配線など)

仕様	Page 3-2
仕様表	Page 3-2
各部の名称	Page 3-3
規制ラベル	Page 3-3
規制ラベル貼付位置	Page 3-3
規制ラベルの説明	Page 3-3
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-4
警告ラベルと指示ラベルについて	Page 3-4
警告ラベル・指示ラベル貼付位置	Page 3-4
警告ラベル・指示ラベルの説明	Page 3-4

製品概要

仕様



注意



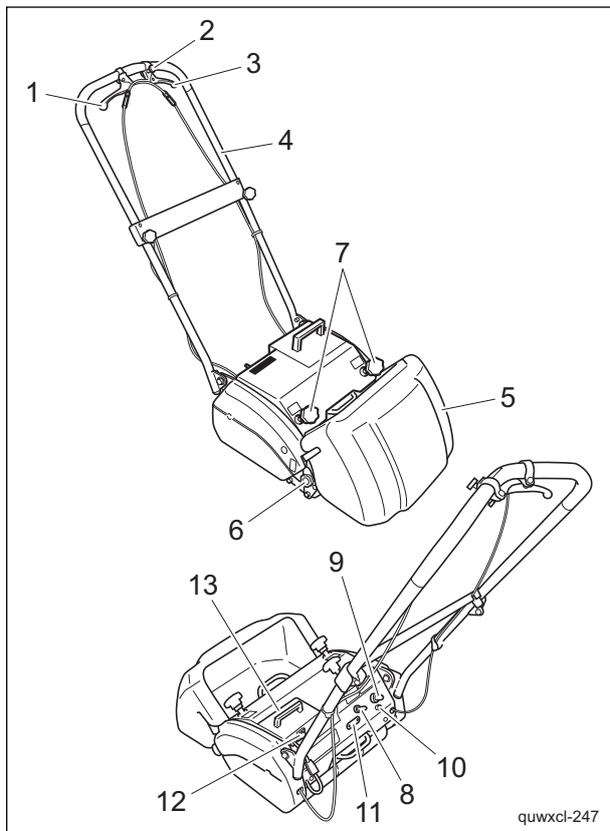
この機械は日本国内用に設計されており、日本国外での使用はできません。

仕様表

型式			LMB12
寸法	全長	集草箱有	114 cm
	全幅		42 cm
	全高	ハンドル	89 cm
質量	本体	集草箱有	26.0 kg
	集草箱		0.5 kg
作業幅（刈幅）			30 cm
作業範囲（刈高）			5.0 - 30.0 mm（6段階）
回転刃	刃数		6枚
駆動方式	走行	メカ方式	
能率			350 - 420 m ² /h（約 100 - 130 坪/h）
バッテリー			ニッケル水素（Ni-MH）DC12 V 10 Ah
モーター	種類		DC モーター
	電圧/消費電力		直流 12 V/150 W
充電器			入力：AC100 V（50/60 Hz） 出力：DC12 V 2 A
稼働可能時間			50 分 ^{*1}
充電時間			5 時間 ^{*1}

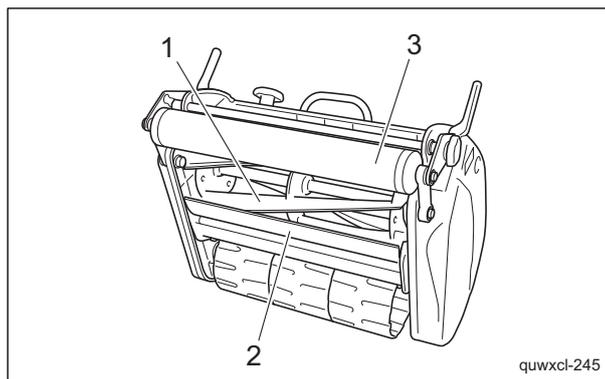
*1：稼働可能時間、充電時間は条件により変化します。

各部の名称



各部の名称_001

1	走行レバー
2	ロックボタン
3	スイッチレバー
4	ハンドル
5	集草箱
6	刈高調整つまみ
7	受刃調整つまみ
8	電源スイッチ
9	回転スイッチ
10	ブレーカーボタン
11	バッテリーチェッカー
12	充電用プラグ
13	バッテリー

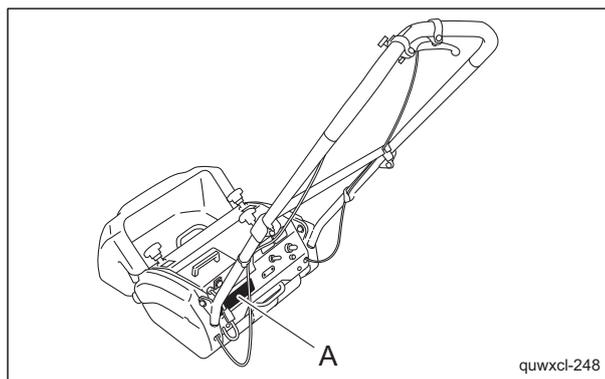


各部の名称_002

1	回転刃
2	受刃
3	前ローラー

規制ラベル

規制ラベル貼付位置



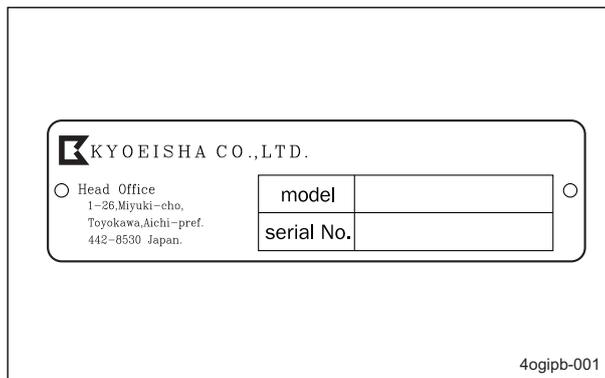
規制ラベル貼付位置_001

A	機番プレート
---	--------

規制ラベルの説明

機番プレート

機番プレートは、型式と機番が記載されています。



4ogjpb-001

機番プレート_001

警告ラベルと指示ラベル

警告ラベルと指示ラベルについて

重要

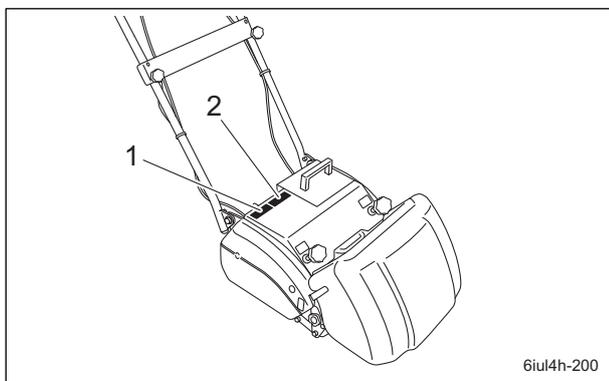
この製品には、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。

ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は、パーツカタログに記載されております。

販売代理店または弊社に注文してください。

警告ラベル・指示ラベル貼付位置



警告ラベル・指示ラベル貼付位置_001

1	手足警告ラベル
2	バッテリー警告ラベル

警告ラベル・指示ラベルの説明

手足警告ラベル

K4205001770

手足警告ラベル

1.



警告



手を切る -

- ・ 回転している刃物に手を近づけないでください。
- ・ 刃物に触れる場合は必ず手袋を着用してください。

2.



警告



足を切る - 回転している刃物に足を近づけないでください。

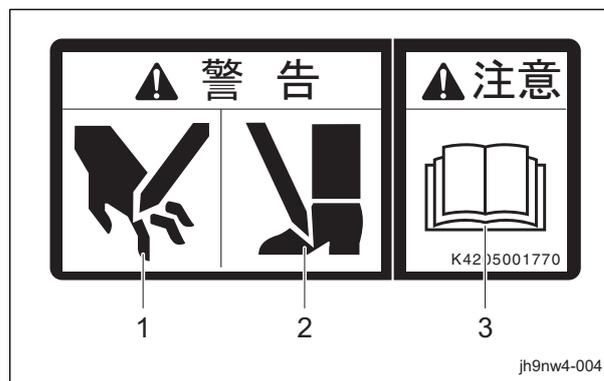
3.



注意



取扱説明書をお読みください。



手足警告ラベル_001

バッテリー警告ラベル

K4205001820

バッテリー警告ラベル

1.

⚠ 危険



爆発 - 火気をバッテリーに近づけないでください。

2.

⚠ 危険



爆発 - バッテリー端子のプラス (+) 端子とマイナス (-) 端子を金属で接触 (短絡) させないでください。

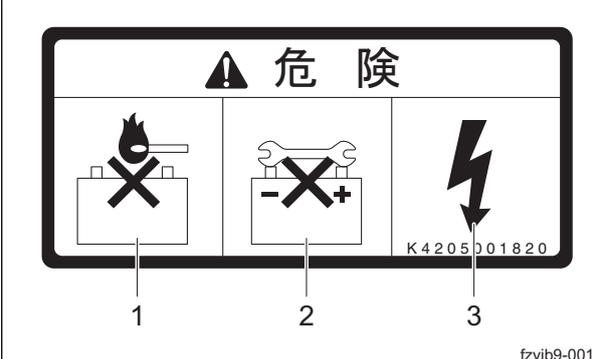
3.

⚠ 警告



感電 -

- ・ 雨中で使用しないでください。
- ・ 水洗いをしたり、雨ざらしにしたりしないでください。



1 2 3

K4205001820

fzvjb9-001

バッテリー警告ラベル_001

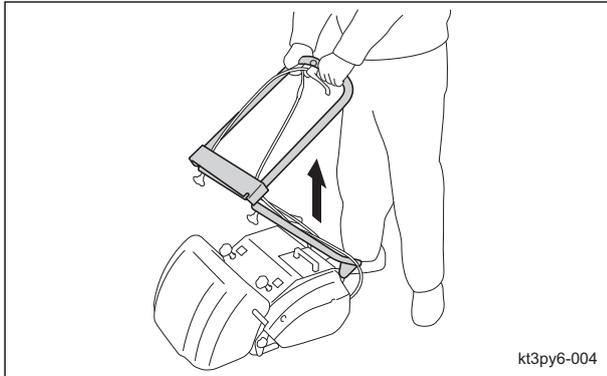
使用前の準備	Page 4-2
ハンドルの固定	Page 4-2
バッテリーの接続	Page 4-2
充電の確認	Page 4-2
点検	Page 4-4
刃物の点検	Page 4-4
作動の点検	Page 4-4
集草箱の点検	Page 4-5
使用前の調整	Page 4-6
刃合わせ調整	Page 4-6
刈高の調整	Page 4-8
操作方法	Page 4-9
機械を離れるときの注意	Page 4-9
走行レバー	Page 4-9
ロックボタン	Page 4-10
スイッチレバー	Page 4-10
刈高調整ツマミ	Page 4-10
受刃調整ツマミ	Page 4-10
充電用プラグ	Page 4-11
回転スイッチ	Page 4-11
電源スイッチ	Page 4-11
ブレーカーボタン	Page 4-12
計器	Page 4-12
バッテリーチェッカー	Page 4-12
移動	Page 4-13
運搬操作	Page 4-13
刈り込み	Page 4-14
刈り込み操作	Page 4-14
集草箱の脱着	Page 4-15
保管	Page 4-16
保管について	Page 4-16
バッテリーの保管について	Page 4-16
長期保管について	Page 4-17

取り扱い説明

使用前の準備

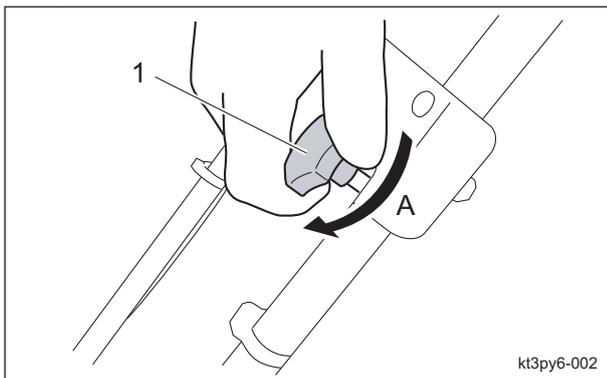
ハンドルの固定

1. ハンドルを伸ばしてください。



ハンドルの固定_001

2. ノブを締め付け、ハンドルを固定してください。



ハンドルの固定_002

1	ノブ
A	締め付ける

バッテリーの接続

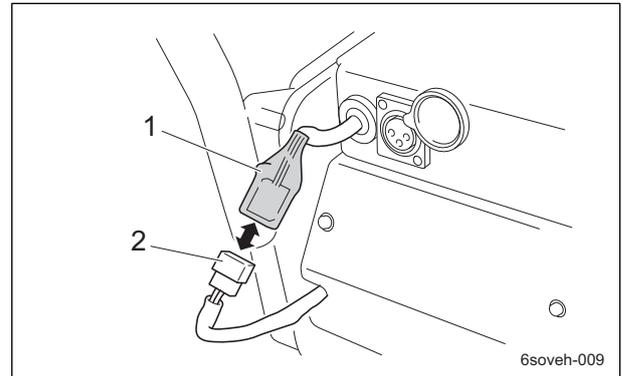
重要



バッテリーの接続を外すときは、防水キャップをずらし、カプラーのロックを押しながら抜いてください。

1. バッテリーのカプラーと本体のカプラーを接続してください。

2. カプラーを防水キャップで確実に覆ってください。



バッテリーの接続_001

1	カプラー (バッテリー)
2	カプラー (本体)

充電の確認

重要



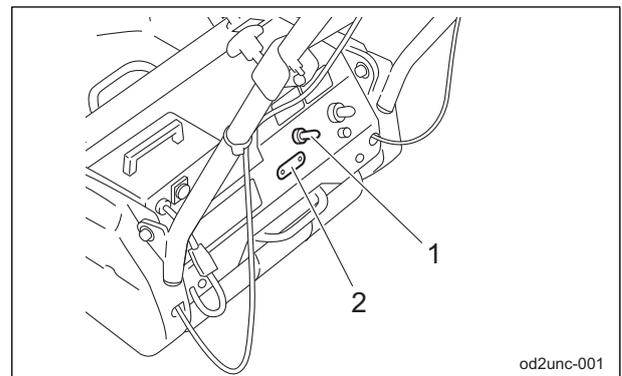
バッテリーチェッカーが赤点灯のまま機械を使用すると過放電状態となり、電池の機能が失われるおそれがあります。必ず充電してください。

重要



充電中は機械を作動させないでください。

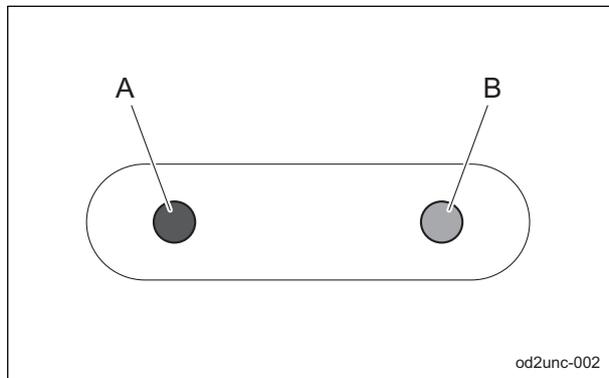
1. 電源スイッチを「入」側にしてください。



充電の確認_001

1	電源スイッチ
2	バッテリーチェッカー

2. バッテリーチェッカーのランプの色を確認してください。
赤色のランプが点灯している場合は、充電の時期です。
充電をしてください。



充電の確認_002

A	赤色ランプ
B	緑色ランプ

充電方法

重要



バッテリーチェッカーが赤点灯のまま機械を使用すると過放電状態となり、電池の機能が失われるおそれがあります。
必ず充電してください。

重要



充電中は機械を作動させないでください。

重要



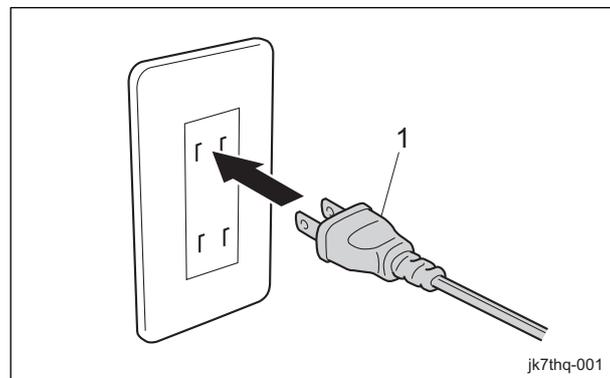
機械を使用中にバッテリーチェッカーのランプの色が緑色から赤色に変わった場合は、作業を中断してバッテリーを充電してください。

参考：

以下の場合には充電を行ってください。

- ・ 初めて機械を使用する前
- ・ 使用後
- ・ 長期保管時

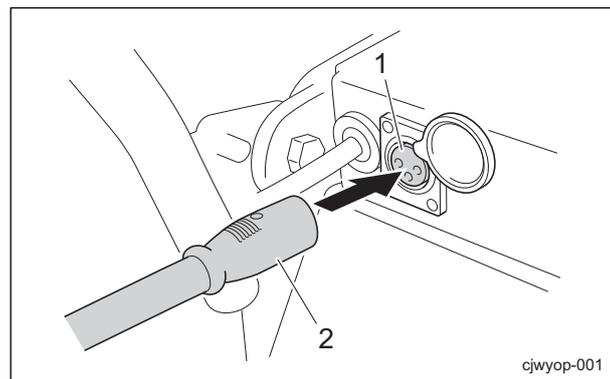
1. 充電器のコンセントを電源 AC100 V (50/60 Hz) に差し込んでください。
バッテリーに接続していない状態では、充電器の LED ランプは緑色に点灯します。



充電方法_001

1	充電器コンセント
---	----------

2. 充電器の充電用コードをバッテリーの充電用プラグに差し込んでください。
充電器用コードがバッテリーに接続されると充電器の LED ランプが赤色点灯に変わり、充電を開始します。



充電方法_002

1	充電用プラグ
2	充電用コード

3. 充電器の LED ランプが緑色点灯に変わったら、充電完了です。
充電器の充電用コードをバッテリーの充電用プラグから抜いてください。
4. 充電器のコンセントを電源から抜いてください。

取り扱い説明

点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、メンテナンススケジュールに従って点検をしてください。

刃物の点検

⚠ 注意



電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いた状態にしてください。

⚠ 注意



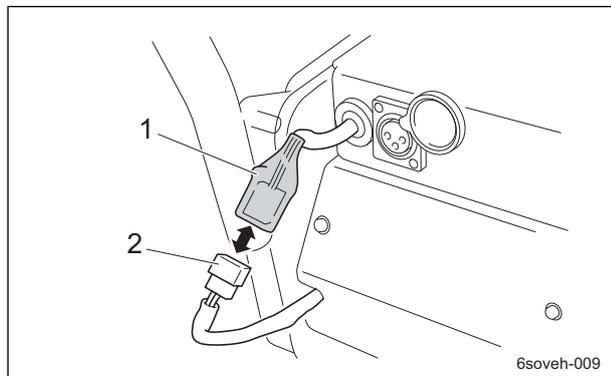
回転刃に手や指が触れるとケガをするおそれがあります。
取り扱い時は必ず手袋を着用し、ケガをしないように注意してください。

使用頻度や作業中の異物のかみ込み、移動中での損傷などにより切れにくくなる場合があります。回転刃と受刃の点検をし、必要に応じて刃合わせ調整、回転刃と受刃のバックラッピング、研磨、または交換をしてください。

1. 回転刃と受刃にひび、欠け等の異常が無いか確認してください。
2. 回転刃と受刃の刃先に曲がりがないか確認してください。

作動の点検

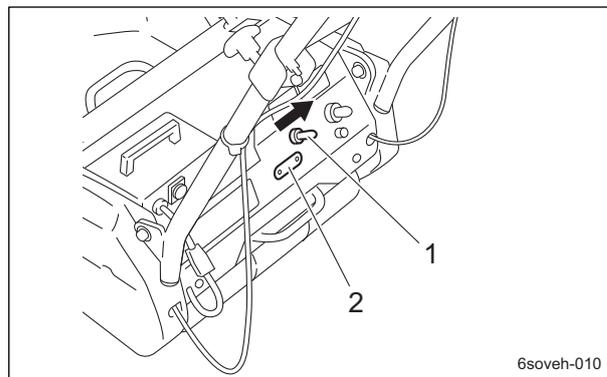
1. バッテリーのカプラーと本体のカプラーを接続してください。



作動の点検_001

1	カプラー (バッテリー)
2	カプラー (本体)

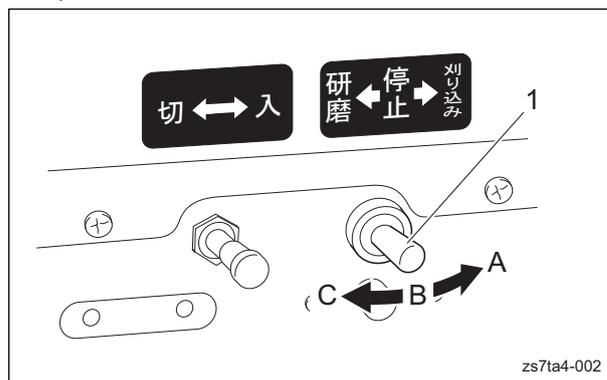
2. 電源スイッチを「入」側に倒し、バッテリーチェッカーの緑色のランプが点灯していることを確認してください。



作動の点検_002

1	電源スイッチ
2	バッテリーチェッカー

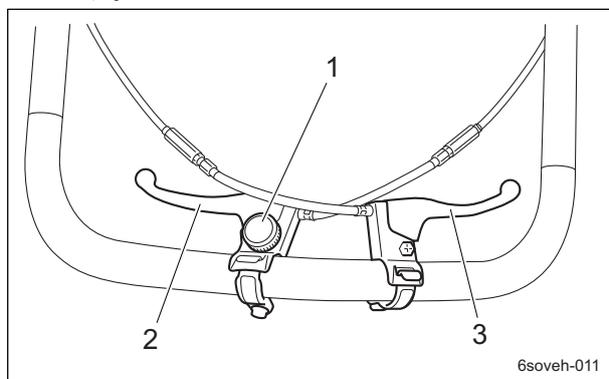
3. 回転スイッチを「刈り込み」側に倒してください。



作動の点検_003

1	回転スイッチ
A	刈り込み (正回転)
B	停止
C	研磨/バックラッピング (逆回転)

4. ロックボタンを押しながら、スイッチレバーを握り、回転刃を回します。
回転刃がスムーズに回るか確認してください。
スイッチレバーから手を離すと、回転刃が止まります。



作動の点検_004

1	ロックボタン
2	スイッチレバー
3	走行レバー

5. スイッチレバーを握っているときに、走行レバーを握ると機械が自走します。
機械が正常に自走するか確認してください。
走行レバーから手を放すと、機械の走行が停止します。
6. 作動しないときは、調整してください。
「ベルトの張り調整」(Page 5-7)

集草箱の点検

使用頻度による集草箱の磨耗や損傷、変形などにより、芝草がきちんと回収できなくなることがあります。

1. 集草箱に磨耗や劣化が無いか確認してください。
2. 集草箱に破損が無いか確認してください。
3. 集草箱の変形による可動部への干渉が無いか確認してください。

取り扱い説明

使用前の調整

刃合わせ調整

注意



回転刃や受刃を取り扱うときは、手袋などで手を保護してください。
ただし、回転刃を回すときに手袋などが巻き込まれ、手や指を切るおそれがありますので、十分注意してください。

注意



刃合わせ調整中、機械に人やペットなどが触れて機械が動くおそれがありますので、周囲に気を配って作業してください。

注意



機械が動かないように、平らな安定した場所で作業してください。

重要



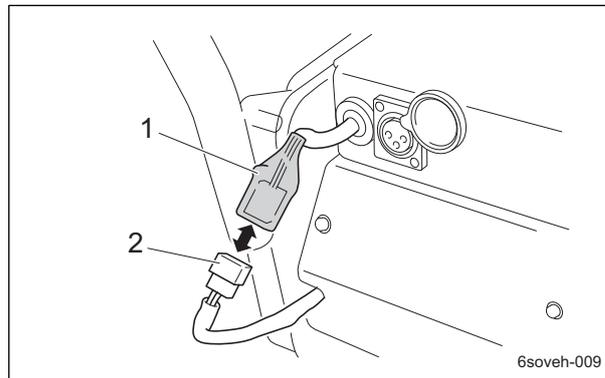
刃合わせがキツイとモーター焼損の原因や、回転刃と受刃が強くと当たるため刃物が損傷しますので注意してください。

重要



工場出荷時は刃合わせを最良の状態にしてありますが、輸送時などのショックにより、刃合わせを必要とする場合があります。
ご使用前に刃合わせの状態を確認してください。

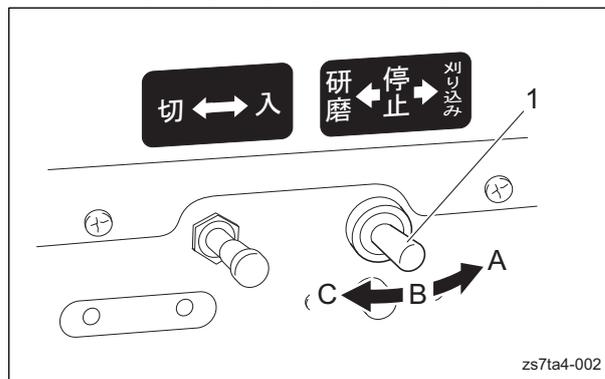
1. 電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。



刃合わせ調整_001

1	カプラー（バッテリー）
2	カプラー（本体）

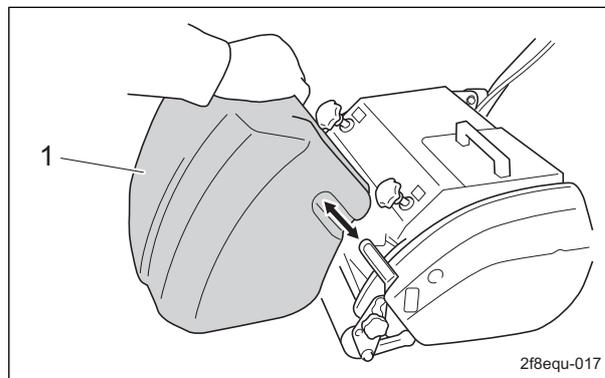
2. 回転スイッチを「停止」にしてください。



刃合わせ調整_002

1	回転スイッチ
A	刈り込み（正回転）
B	停止
C	研磨/バックラッピング（逆回転）

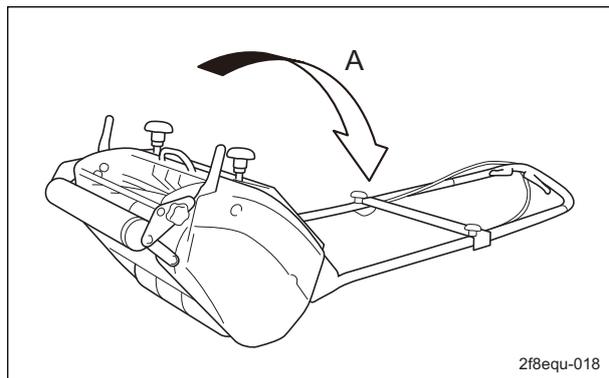
3. 機械から集草箱を取り外してください。



刃合わせ調整_003

1	集草箱
---	-----

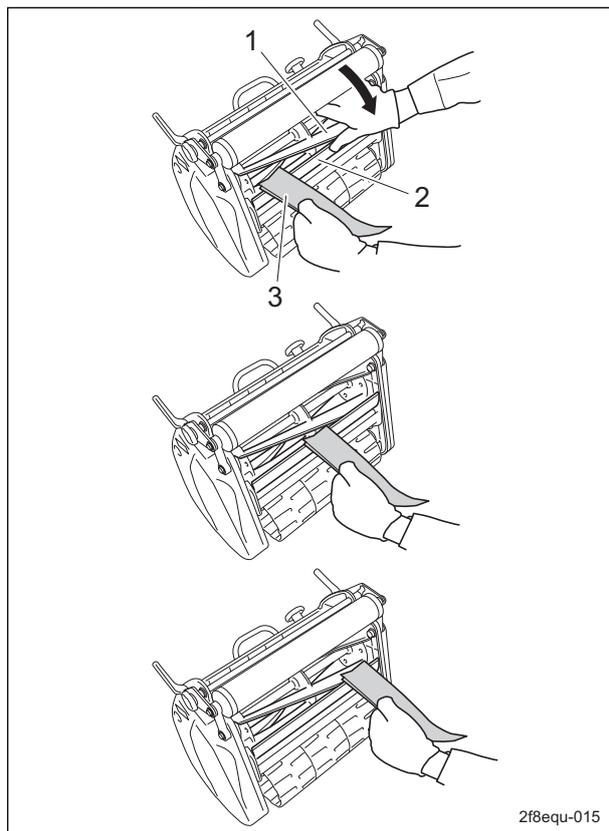
4. 機械を後方へ静かに倒してください。



刃合わせ調整_004

A	倒す
---	----

5. 短冊型に裂いた新聞紙2枚を回転刃と受刃の間に90°に入れ、刈り取り部を左から見て回転刃を反時計回転に手で回して新聞紙を切り、切れ味を調べます。
回転刃の全面(3か所)にわたり、切れ味を調べてください。



刃合わせ調整_005

1	回転刃
2	受刃
3	新聞紙(2枚)

新聞紙切断後の状態と症状は、以下のとおりです。

A: 良い

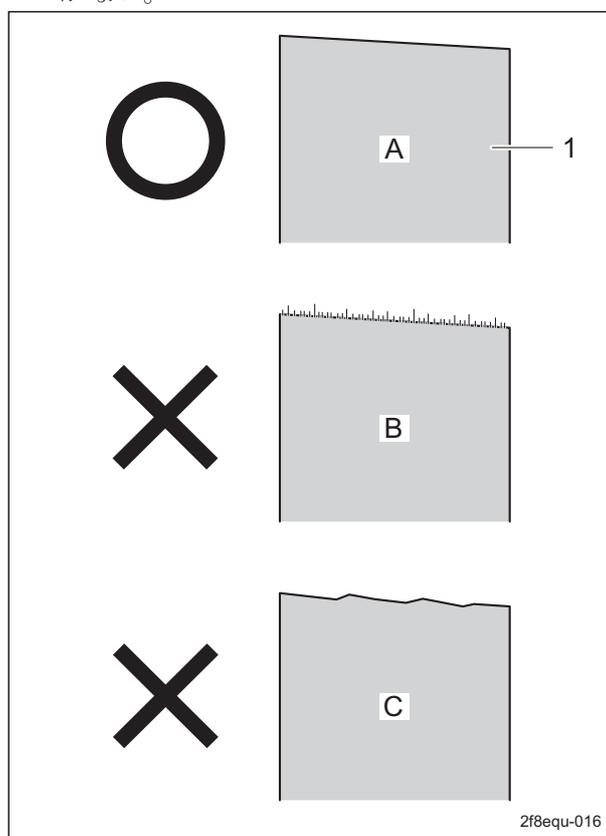
- 新聞紙がスパツときれいに切れる。

B: ユルイ

- 新聞紙が折れて切れない。
- 新聞紙は切れるが、切った面の繊維が毛羽立った状態になる。

C: キツイ

- 刃合わせがキツくて新聞紙を切りづらい。
- 力を入れて回転刃を回さないと新聞紙が切れない。
- 新聞紙を切ろうとしても回転刃が重くて動かない。



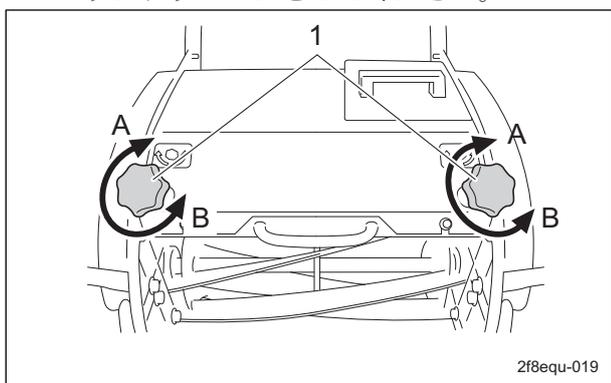
刃合わせ調整_006

1	新聞紙(2枚)
A	良い
B	ユルイ
C	キツイ

取り扱い説明

6. 回転刃と受刃の刃合わせ調整は、受刃調整ツマミで刃先全面を軽く接触させ、新聞紙（2枚）がスパッと切れるように調整してください。

- ユルイ場合：
受刃調整ツマミを「締める」の方向（反時計回り）に少しずつ回して、回転刃と受刃の接触を強くしてください。
- キツイ場合：
受刃調整ツマミを「緩む」の方向（時計回り）に少しずつ回して、回転刃と受刃の接触は弱くしてください。
- 調整しても切れない場合：
バックラッピングをしてください。



刃合わせ調整_007

1	受刃調整ツマミ
A	緩む
B	締まる

刈高の調整

注意



電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いた状態にしてください。

重要



長い芝生を刈る場合は一度に長く刈らず数回に分けて刈り、徐々に刈高を低く設定してください。

重要

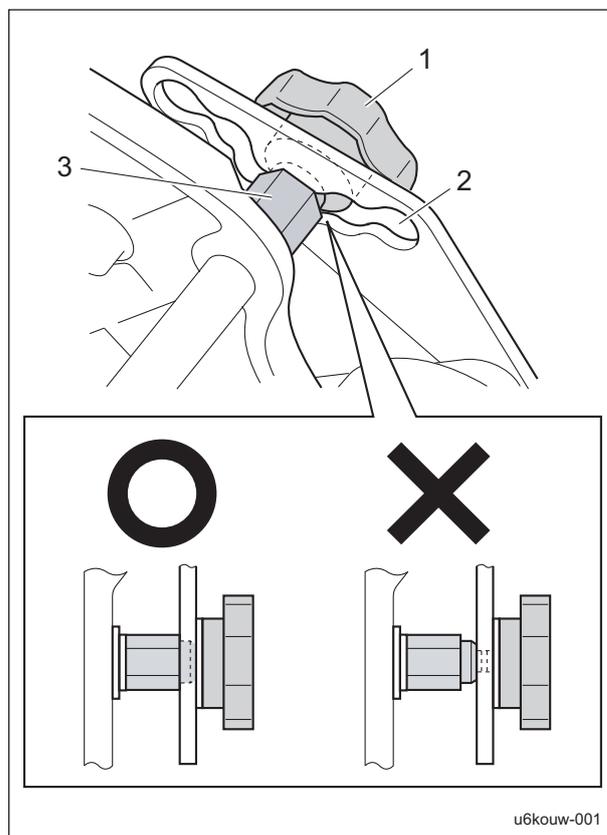


刈高ブラケットは左右同じ位置に設定し、刈り込み作業前に再度確認してください。

重要



刈高ブラケットの穴位置がずれたまま刈高調整ツマミを締めると、刈高が左右そろわないだけでなく、部品を傷める原因となりますので注意してください。



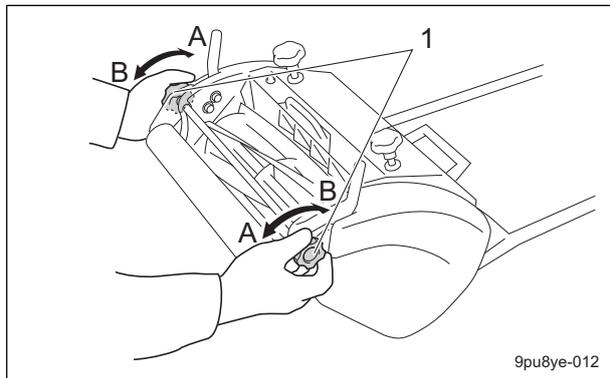
刈高の調整_001

1	刈高調整ツマミ
2	ブラケットの穴
3	前ローラー受金

刈高は、6段階に調整できます。
作業に適した刈り込み姿勢になるように、刈高を調整してください。

1. 機械を水平な場所に移動してください。

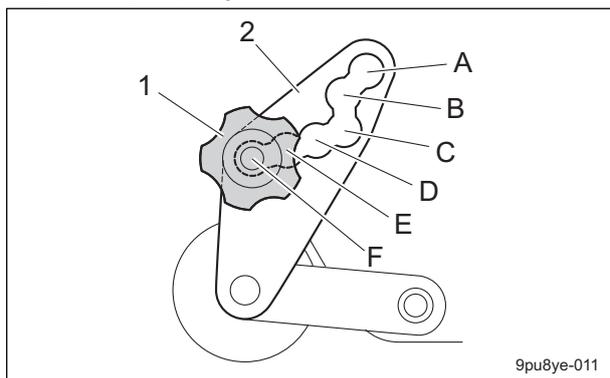
2. 機械の両端にある刈高調整ツマミを左右同時に反時計方向に回し、緩めてください。



刈高の調整_002

1	刈高調整ツマミ
A	緩む
B	締まる

3. 刈高ブラケットを任意の刈高の穴位置へ移動させ、刈高調整ツマミを時計方向に回して締め付けてください。



刈高の調整_003

1	刈高調整ツマミ
2	刈高ブラケット
A	30 mm
B	23 mm
C	17 mm
D	12 mm
E	8 mm
F	5 mm

操作方法

機械を離れるときの注意

注意



電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いた状態にしてください。

注意



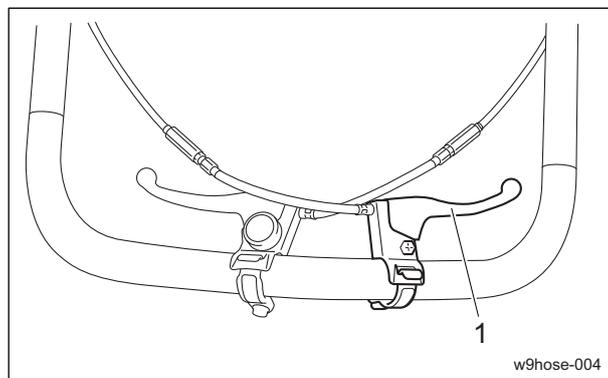
機械を水平な場所に置いてください。
傾斜地には絶対に置かないでください。

走行レバー

重要

回転刃が回転していないと、走行レバーを握っても走行しません。

回転刃を回転させて、走行レバーを握ると機械が自走します。



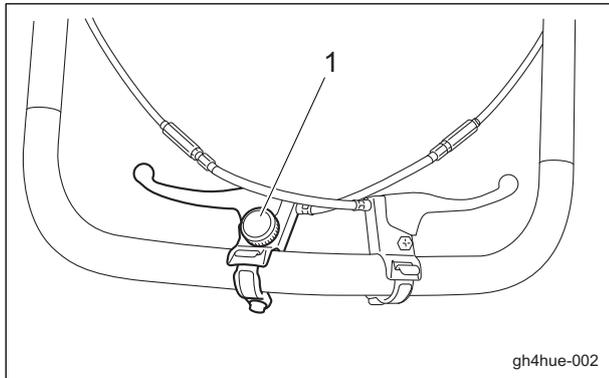
走行レバー_001

1	走行レバー
---	-------

取り扱い説明

ロックボタン

ロックボタンを押しながら、スイッチレバーを握ると回転刃が回転します。



ロックボタン_001

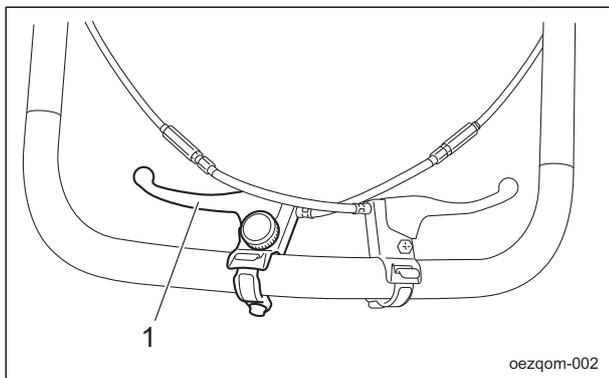
1	ロックボタン
---	--------

スイッチレバー

重要

ロックボタンを押していないと、スイッチレバーを握っても回転刃は回転しません。

ロックボタンを押しながら、スイッチレバーを握ると回転刃が回転します。
レバーから手を離すと回転刃が停止します。



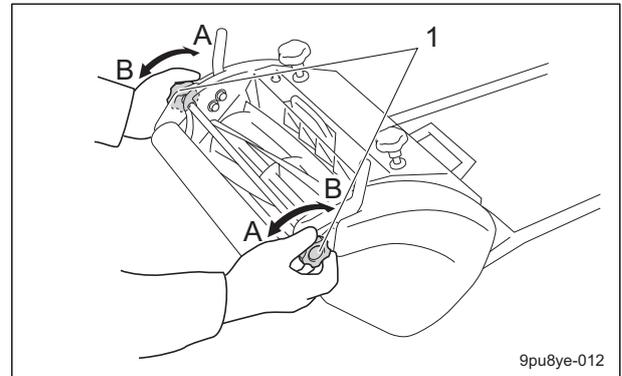
スイッチレバー_001

1	スイッチレバー
---	---------

刈高調整ツマミ

刈高調整ツマミは、ブラケットを任意の刈高の穴位置に調整する際に使用します。

反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。



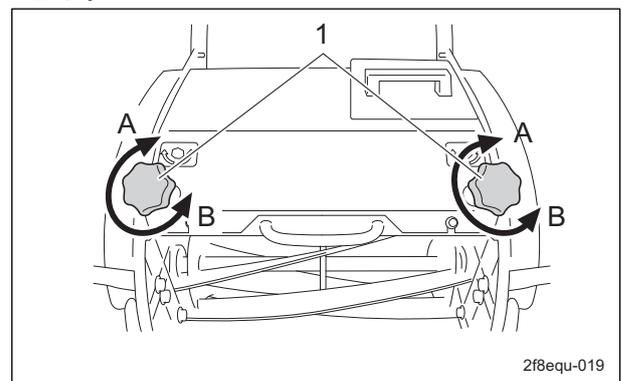
刈高調整ツマミ_001

1	刈高調整ツマミ
A	緩む
B	締まる

受刃調整ツマミ

受刃調整ツマミは、刃合わせ調整をする際に使用します。

時計回りに回すと緩み、反時計回りに回すと締まります。

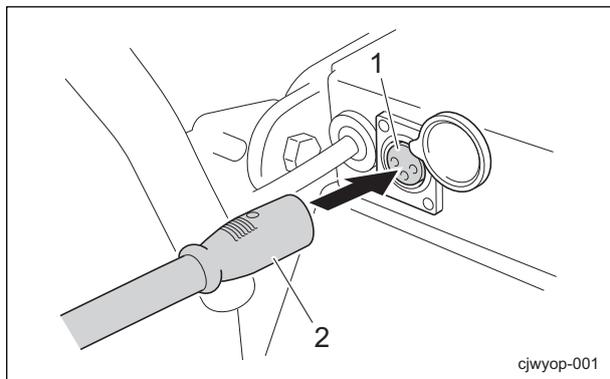


受刃調整ツマミ_001

1	受刃調整ツマミ
A	緩む
B	締まる

充電用プラグ

充電用プラグは、バッテリーを充電する際に充電器の充電用コードと接続して使用します。



充電用プラグ_001

1	充電用プラグ
2	充電用コード

回転スイッチ



警告



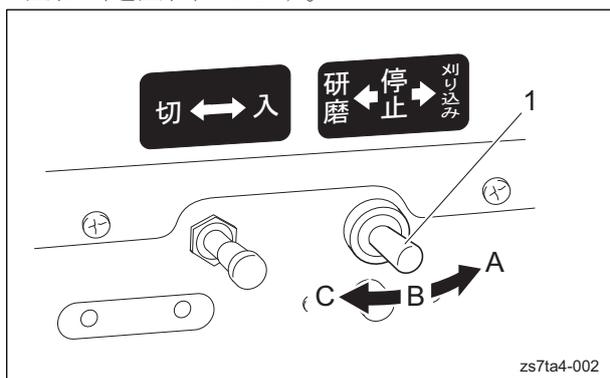
回転刃が回転した状態で、スイッチの切り替えはしないでください。
回転刃に手や指が触れて、ケガをするおそれがあります。



注意

回転スイッチは、刈り込み作業、バックラッピング作業の直前にいずれかの位置に倒し、作業時以外のときは、必ず「停止」の位置にしてください。

回転スイッチは、回転刃を回転させます。
回転刃は、「刈り込み」側に倒すと刈り込み回転（正回転）し、「研磨」側に倒すとバックラッピング回転（逆回転）します。



回転スイッチ_001

1	回転スイッチ
A	刈り込み（正回転）
B	停止
C	研磨/バックラッピング（逆回転）

電源スイッチ



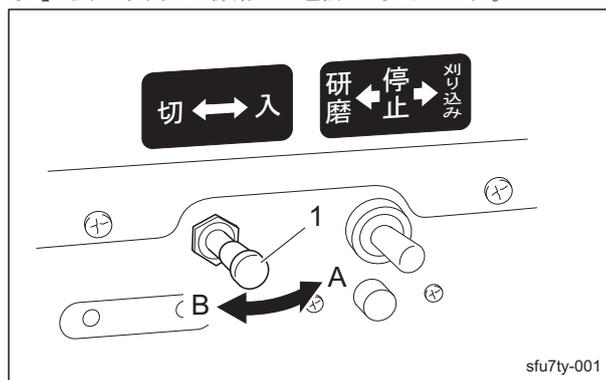
警告



回転刃が回転した状態で、スイッチの切り替えはしないでください。
回転刃に手や指が触れて、ケガをするおそれがあります。

電源スイッチを押すことで、電源の入・切をすることができます。

スイッチを「入」側に倒すと機械の電源が入り、「切」側に倒すと機械の電源は切れます。



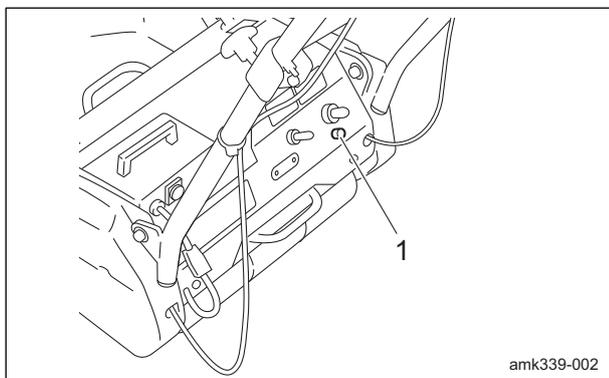
電源スイッチ_001

1	電源スイッチ
A	入
B	切

取り扱い説明

ブレーカーボタン

過電流が一定時間流れるとブレーカーが作動し、機械が停止します。
停止した場合は、原因を調べて処置した後、ブレーカーボタンを押して復帰させてください。



ブレーカーボタン_001

1	ブレーカーボタン
---	----------

参考：

過電流は刃物部分に異物をかみ込み、モーターが停止している状態でスイッチレバーを握り続けると発生します。

計器

バッテリーチェッカー

重要



バッテリーチェッカーが赤点灯のまま機械を使用すると過放電状態となり、電池の機能が失われるおそれがあります。
必ず充電してください。

重要



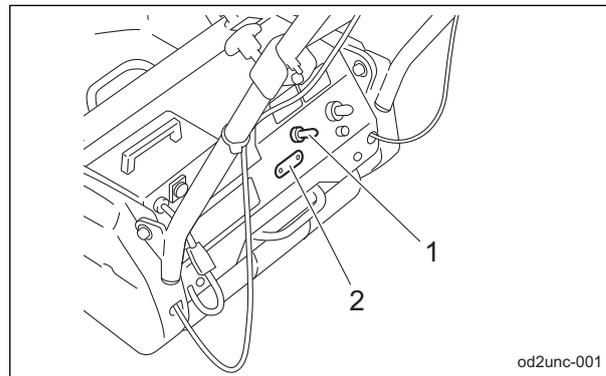
充電中は機械を作動させないでください。

重要



機械を使用中にバッテリーチェッカーのランプの色が緑色から赤色に変わった場合は、作業を中断してバッテリーを充電してください。

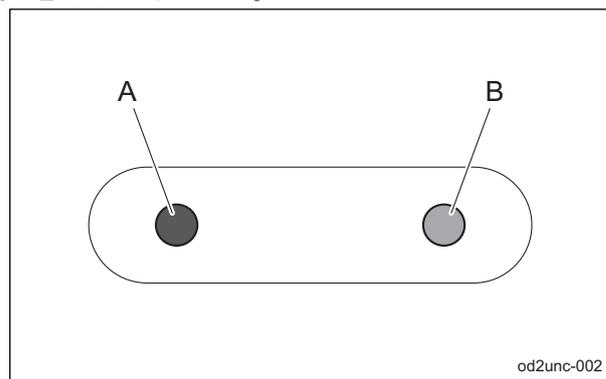
バッテリーチェッカーは、電源スイッチを「入」側に倒すと作動します。



バッテリーチェッカー_001

1	電源スイッチ
2	バッテリーチェッカー

満充電時は緑色のランプが点灯し、バッテリーの充電が不足してくると緑色のランプが消えて、赤色のランプが点灯します。
赤色のランプが点灯した場合は、充電の時期です。充電をしてください。



バッテリーチェッカー_002

A	赤色ランプ
B	緑色ランプ

移動

運搬操作

注意



電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いた状態にしてください。

注意



ハンドルが他のものに当たるので、ハンドルを伸ばしたまま機械を持ち上げないでください。

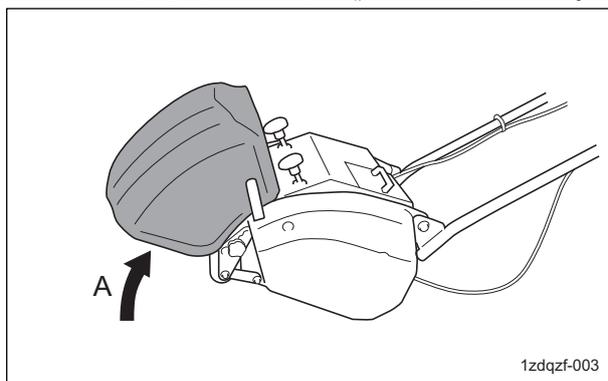
重要



刃物を傷めないように注意してください。

手押し運搬

ハンドルを伸ばしたまま移動する場合は、前ローラーを地面から上げて移動してください。



手押し運搬_001

A	上げる
---	-----

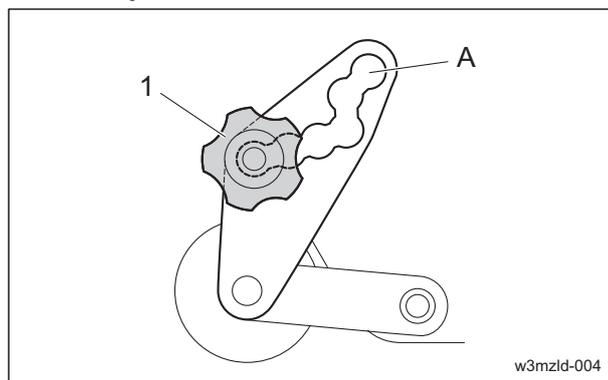
持ち上げ運搬

注意



刃物に手や指が触れるとケガをするおそれがあります。
刃物に触れないように注意してください。

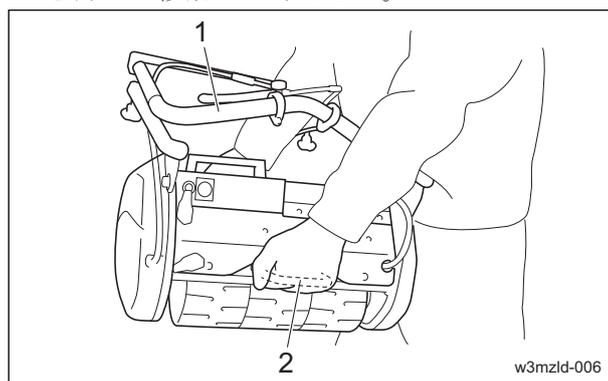
1. 機械を持ち上げて運ぶ場合は、刃物の保護と床を傷つけないため、刈高を 30 mm にしてください。



持ち上げ運搬_001

1	刈高調整ツマミ
A	30 mm

2. ハンドルを折りたたみ、両手で前後の取っ手を持って移動してください。



持ち上げ運搬_002

1	ハンドル
2	取っ手

取り扱い説明

刈り込み

刈り込み操作

注意



集草箱は必ず取り付けて作業してください。
小石や刈り芝が飛散して、思わぬケガをする場合があります。

重要



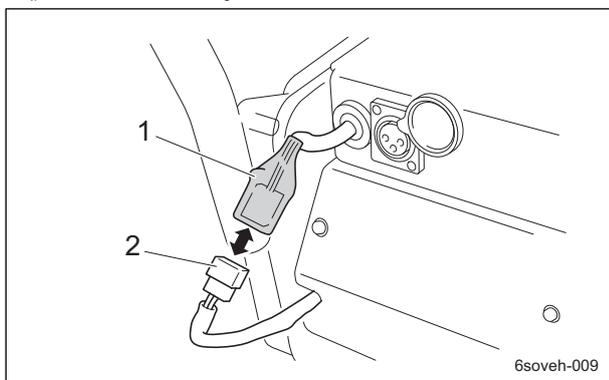
作業前には、作業する場所の異物を必ず取り除いてください。
芝生内に小石・木片・金属などがあると刃物を痛めます。

重要



作業中は集草箱内の刈り芝の量に注意し、いっぱいになる前に捨ててください。

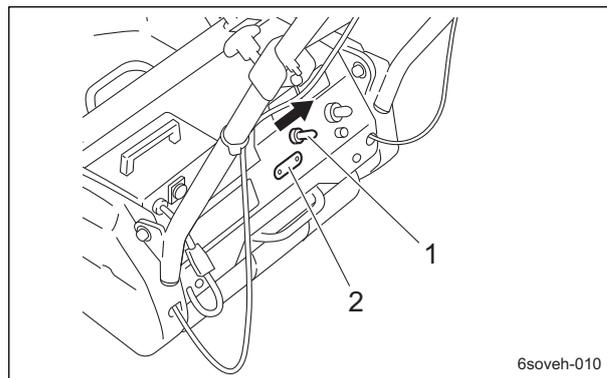
1. バッテリーの接続をする前に、以下のことを確認してください。
 - [1] 刃物の状態が良好なこと。
 - [2] 刈高の設定が終わっていること。
 - [3] 集草箱が機械に取り付けられていること。
2. バッテリーのカプラーと本体のカプラーを接続してください。



刈り込み操作_001

1	カプラー (バッテリー)
2	カプラー (本体)

3.



刈り込み操作_002

1	電源スイッチ
2	バッテリーチェッカー

警告



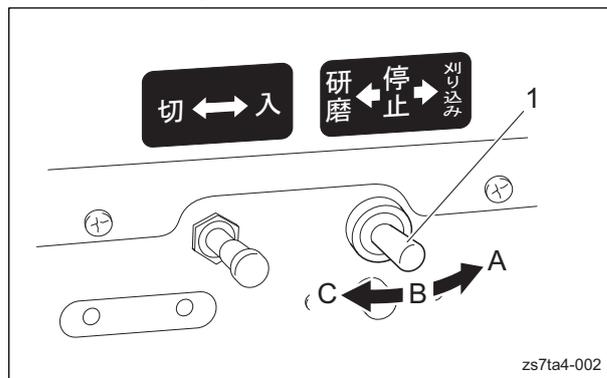
ロックボタンは安全のためのものです。
外したり改造したりしないでください。

警告



スイッチレバーや走行レバーを握ったままで固定 (ひもで縛るなど) するなどの改造をしないでください。
事故や故障またはケガの原因になることがあります。

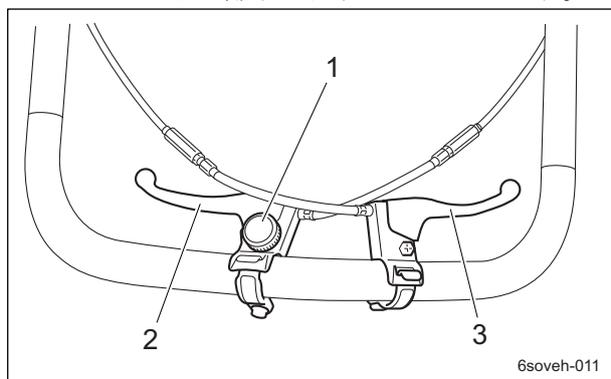
4. 回転スイッチを「刈り込み (正回転)」側に倒してください。



刈り込み操作_003

1	回転スイッチ
A	刈り込み (正回転)
B	停止
C	研磨/バックラッピング (逆回転)

5. ロックボタンを押しながら、スイッチレバーを握ると回転刃が回ります。レバーから手を離すと回転刃が止まります。



刈り込み操作_004

1	ロックボタン
2	スイッチレバー
3	走行レバー

6. スイッチレバーを握りながら、走行レバーを握ると機械が自走し、作業を始めます。

参考：

刈り込み方向を変えて重ね刈りをすれば、きれいに刈ることができます。

また、一度刈った場所に刃幅の約 1/3 を重ねて刈ると、刈り残しやムラがなくきれいに刈ることができます。

集草箱の脱着

注意



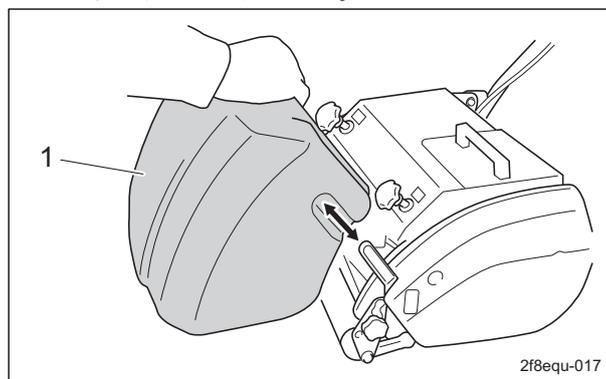
集草箱の脱着は、電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いた状態で行ってください。

注意



集草箱は必ず取り付けて作業してください。小石やサッチが飛散して、思わぬケガをする場合があります。

- 集草箱の取り付け：
集草箱の取付部を集草箱取付金の角に差し込んで取り付けてください。



集草箱の脱着_001

1	集草箱
---	-----

取り扱い説明

保管

保管について

重要



電源スイッチを切り、バッテリーのカプラを抜いた状態にしてください。

重要

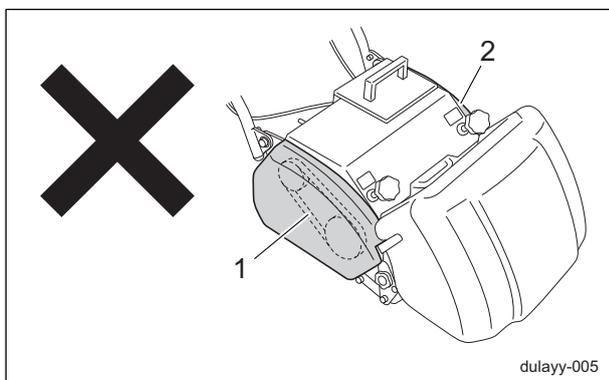


雨ざらしになる場所は避け、必ず屋内に保管してください。

重要



保管前に注油する場合は、左右カバー内部のベルトには絶対注油しないでください。故障の原因となります。



保管について_001

1	右カバー
2	左カバー

保管する前に機械をきれいに清掃してください。以下の条件に該当する場所には保管しないでください。

- ・ 高温になる場所
- ・ 子供の手が届く場所（簡単に持ち出せる場所）
- ・ 湿気が多い場所（湿度や温度が急変する場所）
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 揮発性物質の置いてある場所

バッテリーの保管について

- ・ バッテリーを充電してください。
- ・ 電源スイッチを切り、バッテリーのカプラを抜いてください。

重要



長期保管する場合は、バッテリーが過放電になるおそれがありますので、定期的に補充電をしてください。過放電になってしまったバッテリーは充電器に接続しても充電できず、使用できなくなります。

長期保管する場合：

- ・ バッテリーを満充電にしてください。
- ・ バッテリーを乾燥した冷暗所に保管してください。
- ・ 3か月に1回を目安に補充電をしてください。

長期保管について

重要



電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いた状態にしてください。

重要

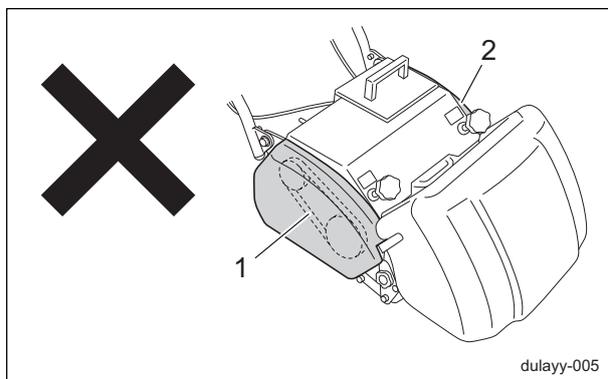


雨ざらしになる場所は避け、必ず屋内に保管してください。

重要



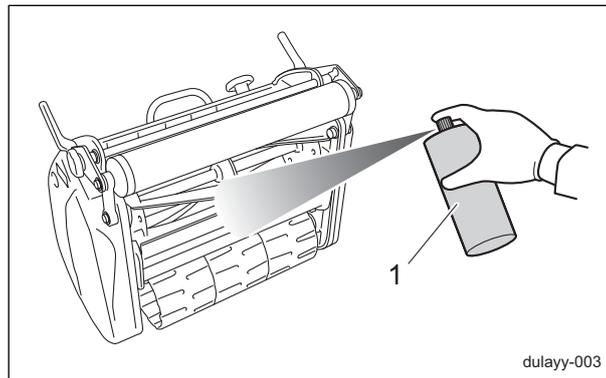
保管前に注油する場合は、左右カバー内部のベルトには絶対注油しないでください。故障の原因となります。



長期保管について_001

1	右カバー
2	左カバー

刃先や可動部に潤滑スプレーなどを吹きかけ、注油してください。



長期保管について_002

1	潤滑スプレー
---	--------

保管する前に機械をきれいに清掃してください。以下の条件に該当する場所には保管しないでください。

- ・ 高温になる場所
- ・ 子供の手が届く場所（簡単に持ち出せる場所）
- ・ 湿気が多い場所（湿度や温度が急変する場所）
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 揮発性物質の置いてある場所

メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-2
メンテナンスの方法	Page 5-3
モーターカバー内の清掃	Page 5-3
バックラッピング	Page 5-4
ベルトの張り調整	Page 5-7
スイッチ調節ワイヤーの調整	Page 5-10
故障と対処	Page 5-11
電気配線図	Page 5-14

メンテナンス

メンテナンス上の注意

⚠ 注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

重要

メンテナンスを行う際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

重要

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリは BARONESS 純正部品をお求めください。
純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュールは、以下のとおりです。

○・・・点検

●・・・調整、充電

△・・・清掃

メンテナンス項目	作業前	作業後	3 カ月ごと	長期保管時	必要に応じて	備考
各部の締付	○					
外観清掃		△				
モーターカバー内の清掃				△		
刃物の状態の点検	○					
刈り込み高さの調整	●					
注油				○		
カバーの状態の点検	○					
ベルトの点検	○					
ワイヤーの点検	○					
スイッチ調節ワイヤーの調整					●	
バックラッピング					●	
バッテリーの充電			●		●	

消耗品については、保証値ではありません。

メンテナンスの方法

モーターカバー内の清掃

⚠ 注意



モーターカバー内の清掃をする場合は、電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いた状態で行ってください。

重要



この機械は、モーターカバー内に刈り芝や埃などが入りにくいような設計をしておりますが、使用場所や使用頻度により次第に堆積する可能性があります。

刈り芝や埃が堆積した状態（内部の配線が見えない程度）でご使用になると故障の原因となります。

使用后一年経過したら、清掃をしてください。その後は、堆積した量と使用状況により間隔を決めて清掃をしてください。

1. 電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。
2. バッテリーを機械から取り外してください。

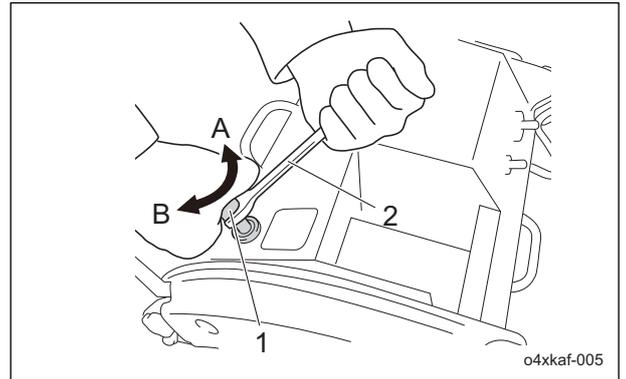
重要



受刃調整つまみを取り外すとき、スパナ（ナット）を回すと刃合わせが大きく変わり、刃物が損傷するおそれがあります。

3. 受刃調整つまみとナットを取り外します。
[1] ナットをスパナで固定し、受刃調整つまみを反時計回りに回して取り外してください。

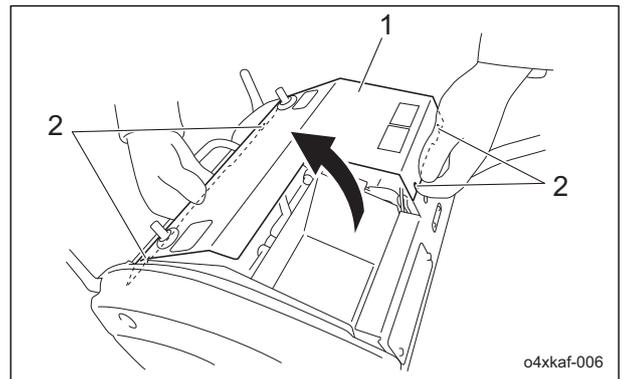
[2] ナットを取り外してください。



モーターカバー内の清掃_001

1	受刃調整つまみ
2	スパナ
A	緩む
B	締まる

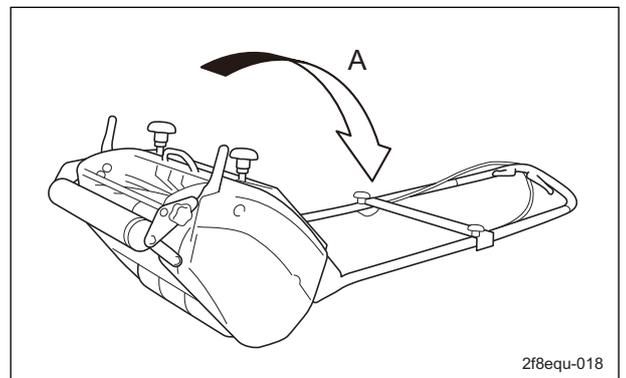
4. ねじを4本取り外し、モーターカバーを取り外してください。



モーターカバー内の清掃_002

1	モーターカバー
2	ねじ

5. 機械を後方に倒してください。



モーターカバー内の清掃_003

A	倒す
---	----

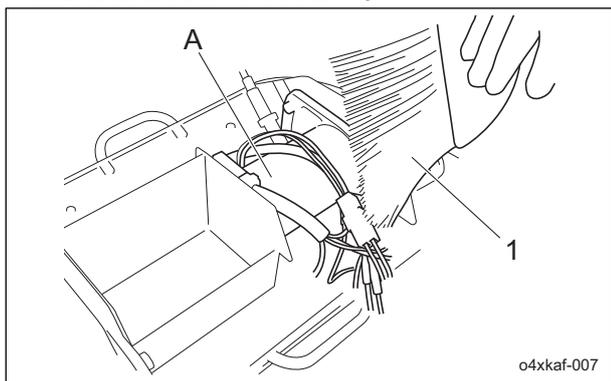
メンテナンス

重要



モーター内部に刈り芝や埃などを入れないでください。
配線を傷つけないようにしてください。

6. ほうきなどでカバー内に堆積した刈り芝や埃などを掃き出してください。



モーターカバー内の清掃_004

1	ほうき
A	配線・モーターに注意

7. モーターカバーを取り付けてください。

重要



受刃調整ツマミを取り付けるとき、スパナ（ナット）を回さないでください。
ナットの締め付けが弱いと刃合わせ調整時に受刃調整ツマミが緩むおそれがあります。

8. 受刃調整ツマミとナットを取り付けます。
- [1] ナットを手で回して軸の奥まで入れ、スパナで支えてください。
 - [2] 受刃調整ツマミをナットに当たるまで手で時計回りに回してしっかりと締め付けてください。
9. バッテリーを機械に取り付けてください。

バックラッピング

バックラッピングとは、包丁の刃を研ぐようなもので、回転刃と受刃の刃先が丸みを帯びて切れづらくなった場合、ペースト状の研磨剤を塗って、回転刃を逆回転させながら刃先を研ぐ作業のことです。

しかし、バックラッピングは応急処置的なもので、完全に切れ味は戻りません。

回転刃と受刃の刃先が丸みを帯びて切れ味が悪くなった場合は、以下の手順でバックラッピングを行ってください。

警告



バックラッピング作業中はリールカッターが回転しています。
可動部に手足を近づけないでください。

注意



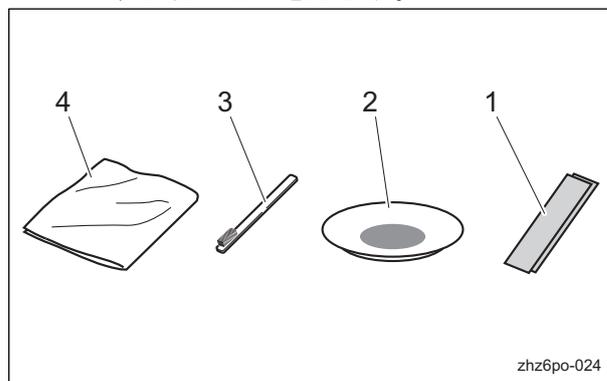
二人以上でバックラッピング作業を行わないでください。

注意



機械が動かないように、平らな安定した場所で作業してください。

1. 新聞紙を短冊型に裂いたもの、バックラッピングパウダーをオイルで混合した研磨剤またはジェルコンパウンド（パロネス純正研磨剤）、ブラシ、布切れを用意します。



zhz6po-024

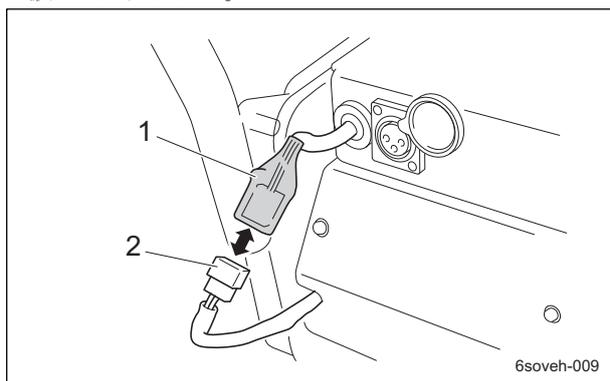
バックラッピング_001

1	新聞紙
2	研磨剤
3	ブラシ
4	布切れ

参考：

研磨剤の混合比は体積比で、バックラッピングパウダー（#200 - #400）1：オイル3 - 4です。

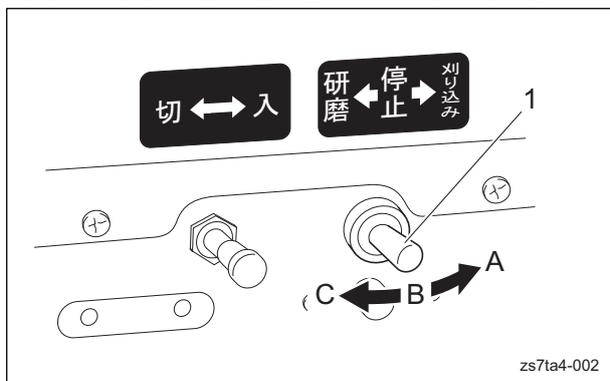
2. 電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。



バックラッピング_002

1	カプラー（バッテリー）
2	カプラー（本体）

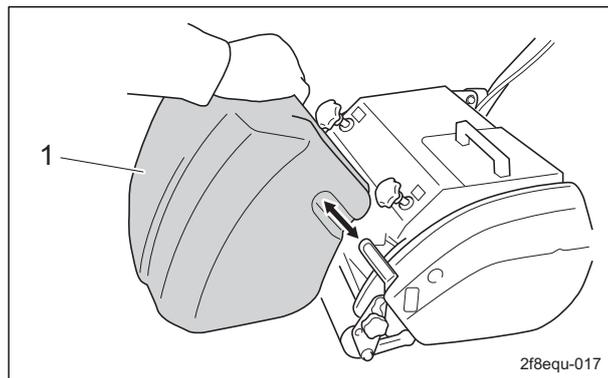
3. 回転スイッチを「停止」にしてください。



バックラッピング_003

1	回転スイッチ
A	刈り込み（正回転）
B	停止
C	研磨/バックラッピング（逆回転）

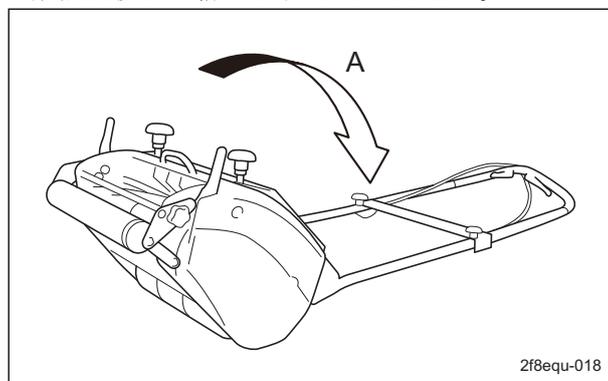
4. 機械から集草箱を取り外してください。



バックラッピング_004

1	集草箱
---	-----

5. 機械を後方へ静かに倒してください。



バックラッピング_005

A	倒す
---	----

メンテナンス

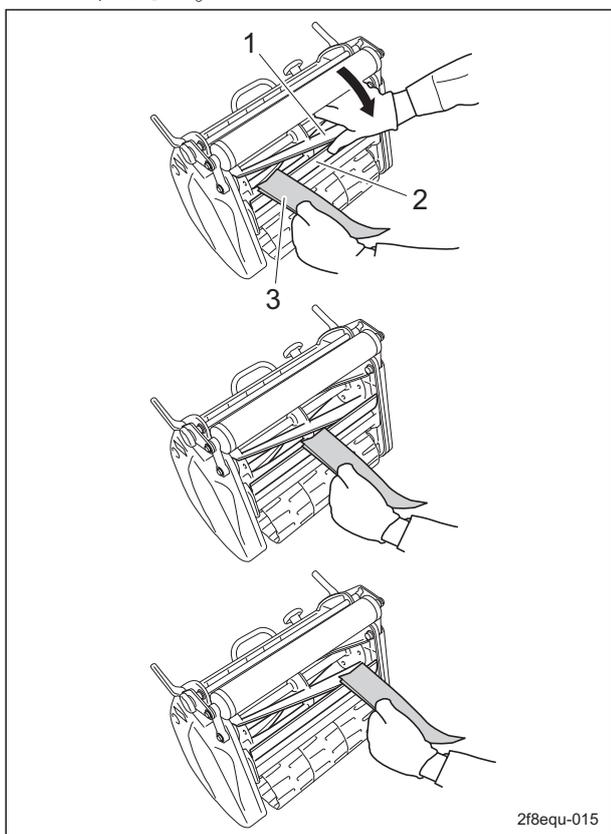
注意



回転刃や受刃を取り扱うときは、手袋などで手を保護してください。

ただし、回転刃を回すときに手袋などが巻き込まれ、手や指を切るおそれがありますので、十分注意してください。

6. 短冊型に裂いた新聞紙2枚を回転刃と受刃の間に90°に入れ、刈り取り部を左から見て回転刃を反時計回転に手で回して新聞紙を切り、切れ味を調べます。
 回転刃の全面(3か所)にわたり、切れ味を調べてください。



バックラッピング_006

1	回転刃
2	受刃
3	新聞紙(2枚)

重要



切れ味の悪い部分には研磨剤を塗らないでください。

重要



回転刃は(正面から見て)右側が左側より、早く磨耗するため、研磨剤を塗布するときは、必ず左から右へブラシを動かしてください。

7. 切れ味を調べ、切れ味の悪い部分の上面に均一にブラシで研磨剤を塗ってください。

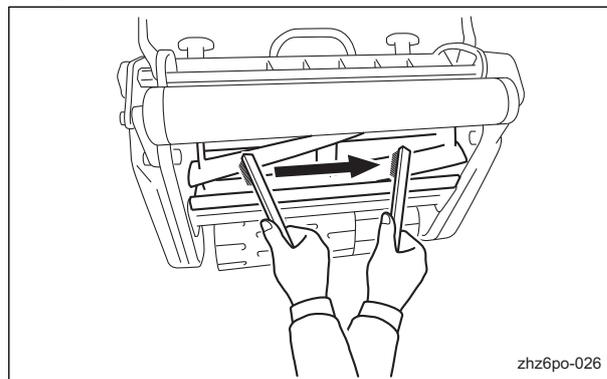
【例】

A:

左右切れて、中央部の切れが悪い場合は、左右に研磨剤を塗ります。

B:

左右切れるようにすると中央部の刃合わせがきつくなる場合は、中央部に研磨剤を塗ります。



バックラッピング_007

8. バッテリーのカプラーと本体のカプラーを接続してください。
 9. 電源スイッチを「入」側に倒してください。
 10. 回転スイッチを「研磨」側に倒してください。
 11. スイッチレバーを握り、回転刃を逆転させてください。
 12. しばらく回転させておき、接触音がしなくなったら、回転刃の回転を停止させます。
 13. 電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。
 14. 回転スイッチを「停止」にしてください。
 15. 回転刃と受刃に付着した研磨剤を布切れでふき取ってください。
 16. 手順6. - 15. の作業を繰り返し、回転刃の全面(3か所程度)が均一な切れ味になるようにバックラッピングします。

17. 最後に研磨剤を回転刃の刃先全幅に塗って、仕上げのバックラッピングを行います。

重要

水で洗い流すときは、電装品に水がかからないように注意してください。

18. 研磨剤を水できれいに洗い流します。
19. 切れ味の確認をしながら、刃合わせ調整を行ってください。

ベルトの張り調整**警告**

ベルトの調整を行う場合は、必ずエンジンを停止してください。

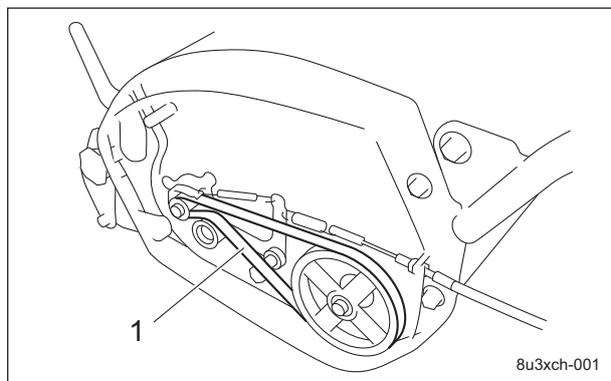
重要

ベルトの張り具合の確認は、ベルトを数回転させた後に行ってください。

使用頻度により、ベルトが緩いと踊ったり、スリップする可能性があります。
また、張り過ぎると損傷が早くなる可能性があります。
必要に応じて調整し、いつも適正な張り具合に保ってください。

F・スターベルト

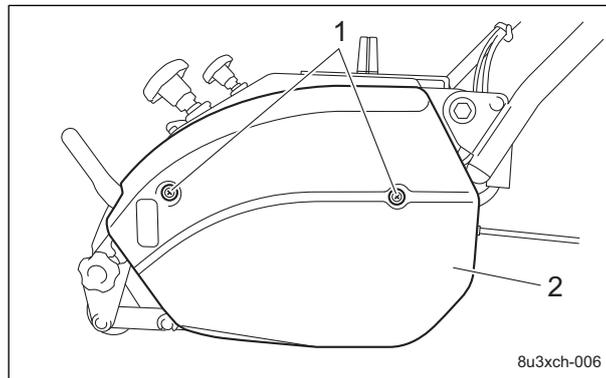
走行レバーを握っても前進しない場合や停止する場合は、テンションワイヤーのアジャストボルトでスターベルトの張りの調整を行ってください。



F・スターベルト_001

1	F・スターベルト
---	----------

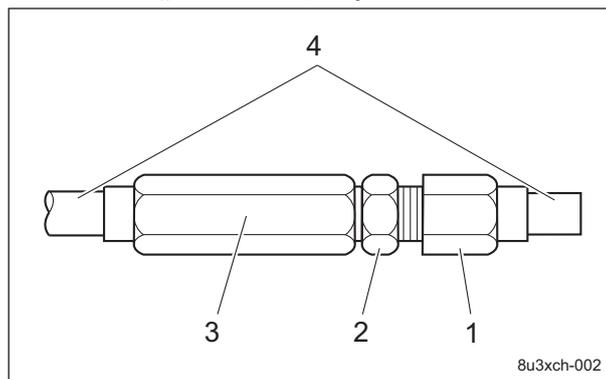
1. ねじを2本取り外し、左カバーを取り外してください。



F・スターベルト_002

1	ねじ
2	左カバー

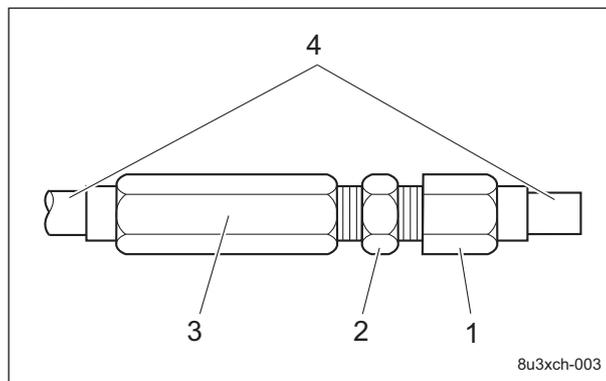
2. アジャストナットをスパナで固定し、固定ナットを緩めてください。



F・スターベルト_003

1	アジャストボルト
2	固定ナット
3	アジャストナット
4	テンションワイヤー

3. アジャストボルトをスパナで固定し、アジャストナットを緩めて、スターベルトの調整を行ってください。

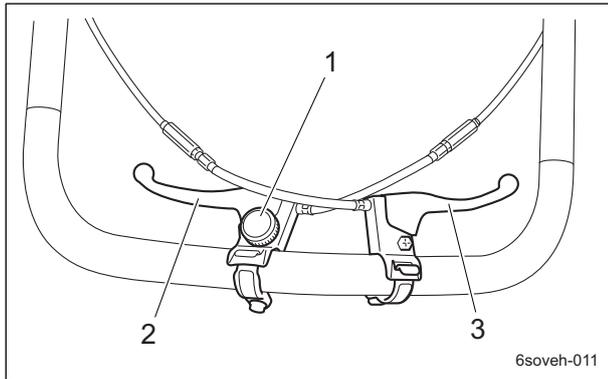


F・スターベルト_004

メンテナンス

1	アジャストボルト
2	固定ナット
3	アジャストナット
4	テンションワイヤー

4. 走行レバーを軽く握るだけで前進し、放せば停止するように調整してください。



F・スターベルト_005

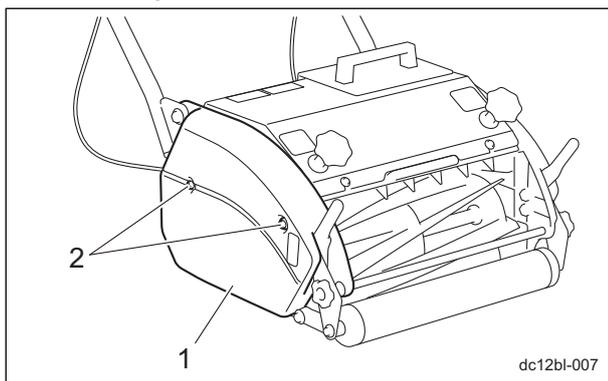
1	ロックボタン
2	スイッチレバー
3	走行レバー

5. アジャストナットをスパナで固定し、固定ナットでロックしてください。

Vベルト

スイッチレバーを握ったとき、モーターは回転するが、回転刃が回転しない場合は、調整ボルトでVベルトの張りの調整を行ってください。

1. ねじを2本取り外し、右カバーを取り外してください。



Vベルト_001

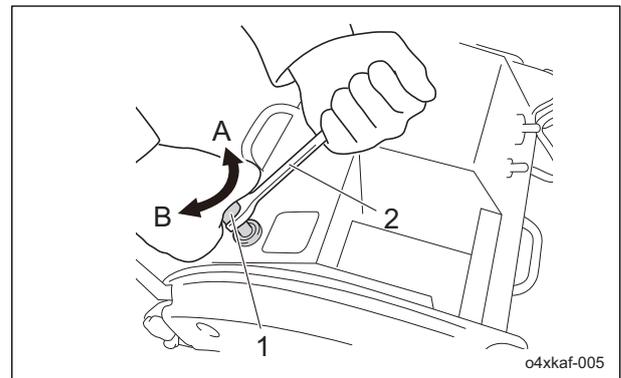
1	右カバー
2	ねじ

重要



受刃調整つまみを取り外すとき、スパナ（ナット）を回すと刃合わせが大きく変わり、刃物が損傷するおそれがあります。

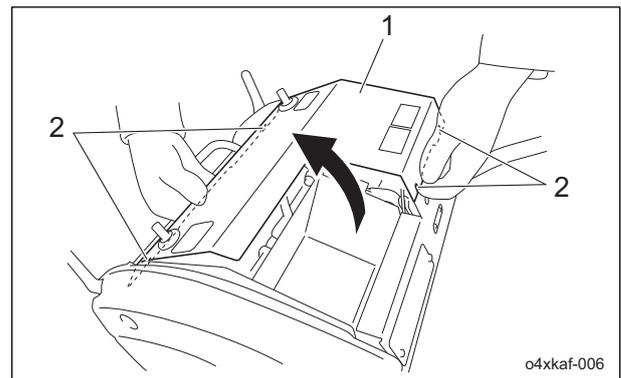
2. バッテリーを機械から取り外してください。
3. 受刃調整つまみとナットを取り外します。
 - [1] ナットをスパナで固定し、受刃調整つまみを反時計回りに回して取り外してください。
 - [2] ナットを取り外してください。



Vベルト_002

1	受刃調整つまみ
2	スパナ
A	緩む
B	締まる

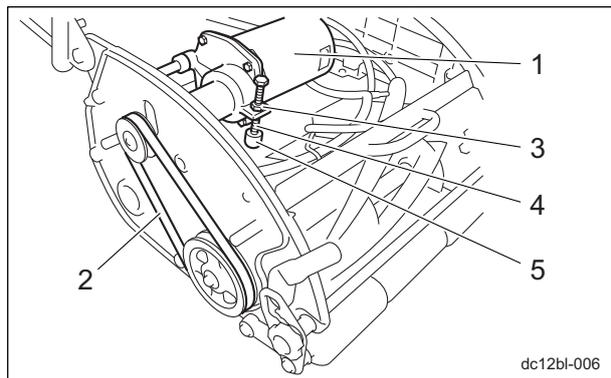
4. ねじを4本取り外し、モーターカバーを取り外してください。



Vベルト_003

1	モーターカバー
2	ねじ

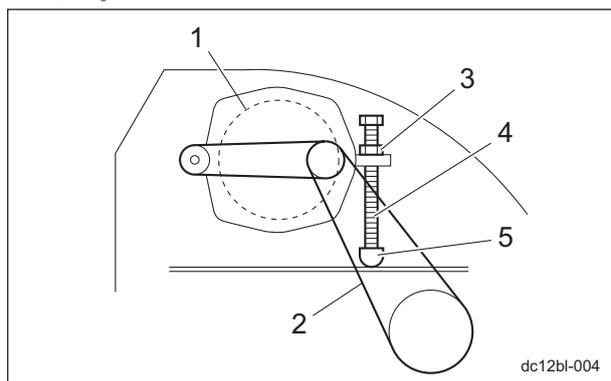
5. 固定ナットを緩めてください。



Vベルト_004

1	モーター
2	Vベルト
3	固定ナット
4	調整ボルト
5	絶縁キャップ

6. 調整ボルトを締め込み、Vベルトを張ってください。



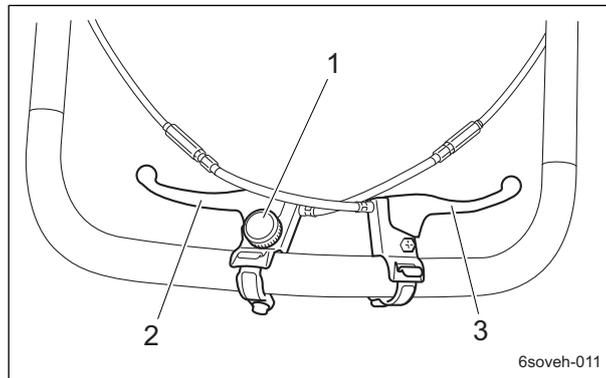
Vベルト_005

1	モーター
2	Vベルト
3	固定ナット
4	調整ボルト
5	絶縁キャップ

7. バッテリーのカプラーと本体のカプラーを接続してください。

8. 電源スイッチを「入」側に倒してください。

9. スイッチレバーを握り、回転刃が回転することを確認してください。



Vベルト_006

1	ロックボタン
2	スイッチレバー
3	走行レバー

10. 固定ナットでロックしてください。

11. モーターカバーを取り付けてください。

重要



受刃調整ツマミを取り付けるとき、スパナ（ナット）を回さないでください。ナットの締め付けが弱いと刃合わせ調整時に受刃調整ツマミが緩むおそれがあります。

12. 受刃調整ツマミとナットを取り付けます。

[1] ナットを手で回して軸の奥まで入れ、スパナで支えてください。

[2] 受刃調整ツマミをナットに当たるまで手で時計回りに回してしっかりと締め付けてください。

13. 右カバーを取り付けてください。

14. バッテリーを機械に取り付けてください。

メンテナンス

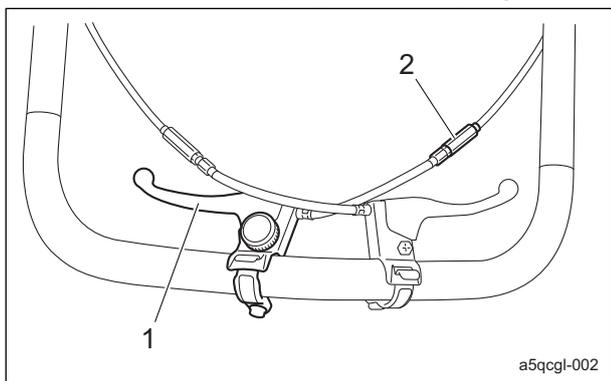
スイッチ調節ワイヤーの調整

重要



スイッチレバーを握ったとき回転刃が回転し、スイッチレバーから手を放したとき回転刃の回転が止まるように調整してください。

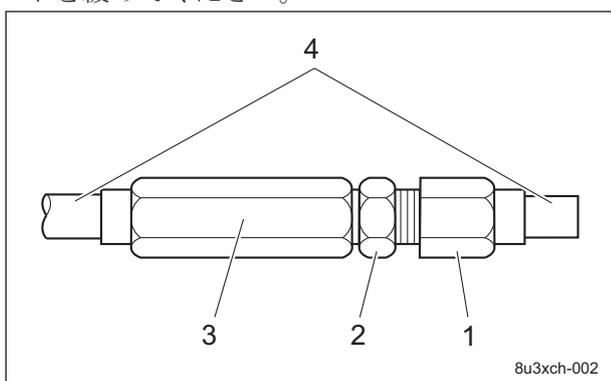
スイッチの入・切の位置は、スイッチ調節ワイヤーのアジャストボルトで調整してください。



スイッチ調節ワイヤーの調整_001

1	スイッチレバー
2	アジャストボルト

1. アジャストナットをスパナで固定し、固定ナットを緩めてください。

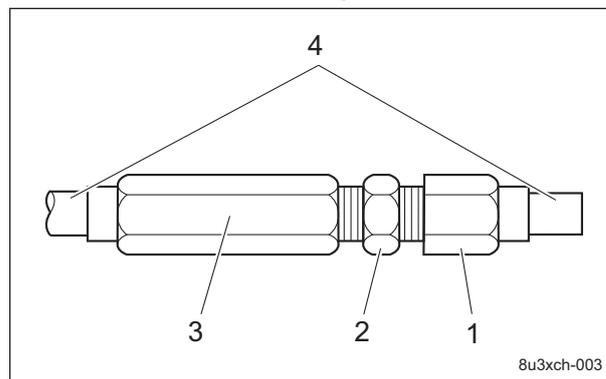


スイッチ調節ワイヤーの調整_002

1	アジャストボルト
2	固定ナット
3	アジャストナット
4	スイッチ調節ワイヤー

2. アジャストボルトをスパナで固定し、アジャストナットを1回転緩めてください。

3. アジャストナットをスパナで固定し、固定ナットを締め付けてください。



スイッチ調節ワイヤーの調整_003

1	アジャストボルト
2	固定ナット
3	アジャストナット
4	スイッチ調節ワイヤー

4. スイッチレバーを握って、回転刃が回転することを確認してください。

参考：

スイッチレバーを握っても回転刃が回転しない場合は、手順1. - 4. を繰り返してください。

故障と対処

 注意



機械の点検、補修、調整や部品の交換をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

 注意



回転刃に手や指が触れるとケガをするおそれがあります。
回転刃に触れないように注意してください。

 注意



機械の調子が悪いときは無理にご使用にならず、早めに対処をしてください。
そのままご使用になりますと、故障やケガの原因となります。

重要



以下に記載された処置で直らない場合は、必ずお買い求めの販売店または弊社に修理を依頼してください。

1. 使用中に機械が動かなくなった。

原因	刃の部分に芝や異物がかみ込み、モーターが停止している。	➡	対処	スイッチレバーを放す。
				電源スイッチを切り、バッテリーのカブラーを抜く。
				刃先にかみ込んだ芝や異物を取り除く。

uw6c1o-007

故障と対処_001

メンテナンス

2. モーターが回らない。

モーターの損傷を防ぐために、過電流が一定時間流れ続けるとブレーカーが作動し、モーターを停止させます。

作業中にモーターが停止した場合は、スイッチレバーを放します。

電源スイッチを切り、バッテリーのカプラーを抜いてください。

次に、停止した原因を調べて処置した後、ブレーカーボタンを押して復帰させてください。

原因	電源スイッチが「切」になっている。	➡	対処	電源スイッチを「入」にする。
	バッテリーのカプラーが抜けている。	➡		バッテリーのカプラーと本体のカプラーを接続する。
	バッテリーの充電が不足している。	➡		充電を行う。
	ブレーカーが作動している。	➡		刃先に異物をかみ込んでいないか確認した後、ブレーカーボタンを押してブレーカーを解除する。
	配線が断線している。	➡		配線の補修、交換をする。
	スイッチ、モーターが故障している。	➡		販売店または弊社に相談する。

uw6c1o-008

故障と対処_002

3. スイッチレバーを握っても回転刃が回らない。

原因	回転スイッチが「停止」になっている。	➡	対処	回転スイッチを「刈り込み」側に入れる。
	ワイヤーの調整不良。(ハンドルを折りたたんだり伸ばしたときにワイヤーの位置が変わってスイッチの入切の位置がズれる)	➡		スイッチ調節ワイヤーのアジャストボルトでスイッチの入切の位置を調整する。
	回転スイッチが故障している。	➡		回転スイッチを交換する。
	モーターが故障している。	➡		販売店または弊社に相談する。

uw6c1o-006

故障と対処_003

4. 走行レバーを握っても前進しない。

または前進してもすぐ停止する。

原因	F・スターベルトが緩んでいる。	➡	対処	アジャストボルトで張りを調整する。
----	-----------------	---	----	-------------------

uw6c1o-003

故障と対処_004

5. 回転刃がスムーズに回転しない。

原因	Vベルトが緩んでいる。	➡	対処	調整ボルトで張りを調整する。
----	-------------	---	----	----------------

uw6c1o-004

故障と対処_005

6. きれいに刈れない。

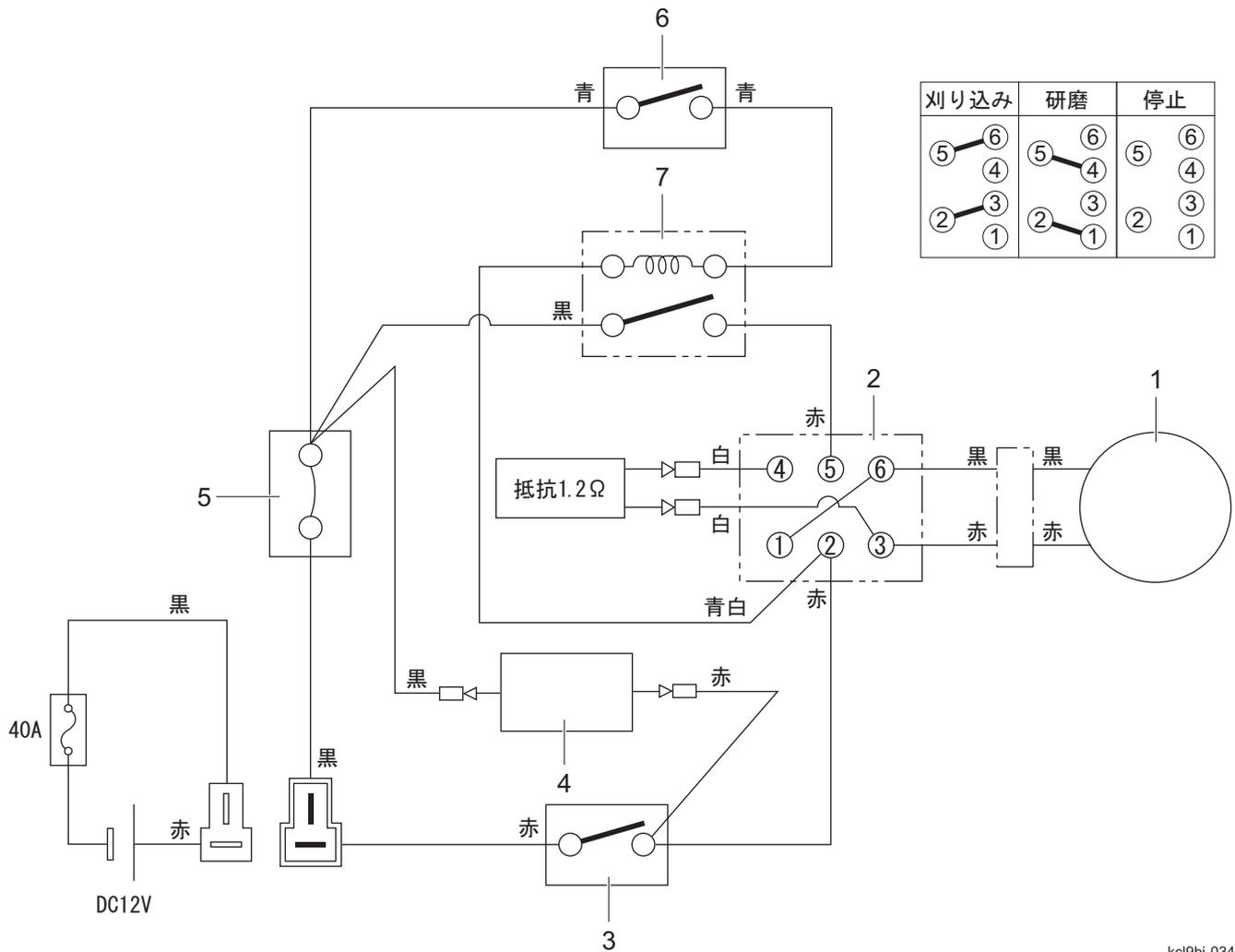
原因	対処
刃のかみ合わせにすき間がある。	刃合わせを行う。
刃先が丸くなっている。	バックラッピングを行う。
刃先が欠けている、または変形している。	販売店または弊社へ研磨を依頼する、または新品と交換する。
刈り込み方向が毎回同じである。	刈り込み方向を変える。
回転刃が逆転している。	回転スイッチを「刈り込み」側に入れる。

uw6c1o-009

故障と対処_006

メンテナンス

電気配線図



刈り込み	研磨	停止
⑤—⑥ ④	⑤—⑥ ④	⑤—⑥ ④
②—③ ①	②—③ ①	②—③ ①

電気配線図_001

kcl9bj-034

1	モーター
2	回転スイッチ
3	電源スイッチ
4	バッテリーチェッカー
5	ブレードボタン
6	マイクロスイッチ
7	リレー

BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共 栄 社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84-1221
FAX (0533) 84-1220